

## 第 20 回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2023 in 舞鶴 「session」

### 構造デザイン部門 募集要項

#### 【テーマ：つどい支える】

**【課題概要】** 舞鶴大会では、2019 年東京大会から続いている紙を素材とした橋のデザインを競います。本大会では、載荷直前に 2 つ以上の部材をつなぎ 1 つの橋にさせていただきます（構造の session）。そして、固定荷重に加えて、衝撃荷重にも耐える橋としてください（競技の session）。素材の特徴をよく捉えてこれらの条件を満足させる「耐荷性」、「軽量性」、「デザイン性」に優れた橋を製作してください。

### 1. 競技内容

所与の支点間隔で支持される橋梁（作品）を製作し、耐荷性、軽量性、デザイン性、創造性等を競う。

#### (1) 審査方法

- ① 競技得点 競技得点は、以下の通りとする。詳細は、「(3) 競技方法」を参照のこと。

$$\begin{aligned} \text{競技得点} &= (\text{静的載荷得点 } 40 \text{ 点} + \text{衝撃載荷得点 } 10 \text{ 点} + \text{軽量点 } 20 \text{ 点}) \\ &\quad \times \text{設置時間係数}(1.0、\text{遅延 } 0.9) \\ &\quad \times \text{部材数係数}(\text{部材数 } 2: 1.0、3: 1.1、4: 1.2) \\ &= 84 \text{ 点満点} \end{aligned}$$

- ② 審査員評価点 審査員評価点として、審査員は以下の項目で評価する。詳細は、「(3) 競技方法」を参照のこと。なお、本大会では作品の着色に関する評価は行わない。

$$\begin{aligned} \text{審査員評価点} &= \text{「作品の構造的合理性」}9 \text{ 点} + \text{「作品の独自性」}9 \text{ 点} \\ &\quad + \text{「プレゼンテーションポスターの出来栄」}9 \text{ 点} \\ &\quad + \text{「審査員からの質疑応答」}3 \text{ 点} \\ &= 30 \text{ 点満点} \end{aligned}$$

上記、①および②の合計点より得点順位を得る。なお、同点の場合は、軽量点が高い方を上位とする。

#### (2) 設計および製作条件（詳細は図 1 以降を参照）

##### ① 構造形式

- ・ 水平支間長 900mm で、分割された 2 から 4 つの部材を指定する位置（以下「継手の重複可能部分」）にて乾式で、かつ、部材以外の部品等（例えば、くさびや込み栓等）を用いずに接合し、1 つの橋梁となる 2 点単純支持（両端ピン支持）形式の橋梁とする。また、部材の接合作業も競技の設置時間に含めるため、容易に接合できる橋梁とする。
- ・ 部材および部材を接合した 1 つの橋梁は、製作限界に収まる大きさにしなければならない。加えて、橋長は載荷治具等のセッティング荷重（「(3) 競技方法 ④セッティング荷重」参照）が作用した状態で 900mm 以上を確保すること。
- ・ 乾式による継手の重複可能部分は、図 1 に示す通り部材数（2、3、4）に応じて位置が異なる。そして、継手の重複可能部分は 150mm の範囲とする。また、分割された部材を接合して 1 つの橋梁としたときに一方の部材が継手の重複可能部分をを超えて製作することはできない。
- ・ 部材は、接合時に変形（部材の一部および全体を折る、丸める、破く、縮める、伸ばす）しないものとする。

## ② 使用材料

使用可能な材料は、紙と木工用ボンドとする。紙は表 1 に示す商品に限る。同等品の使用は不可とする。木工用ボンドは、主成分が酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形で、表 2 に示す商品に限る。

表 1 使用可能なケント紙の例

	メーカー・品名・型番	秤量(g/m <sup>2</sup> )	紙厚(mm)	サイズ
1	コクヨ・高級ケント紙・セ-KP18	157	0.19	A3
2	コクヨ・高級ケント紙・セ-KP28	210	0.22	A3
3	菅公工業・ケント紙・ベ 063	157	0.19	A3
4	muse・KMK ケント断裁品#200・8切	180		8切

表 2 使用可能な接着剤の種類

	メーカー	製品名
1	コニシ	木工用 CH18
2	セメダイン	木工用 605

## ③ 部材の加工・接着

部材の製作において、紙を任意形状に切ったり、折ったり、よじったり、丸めたりしてもよい。一度溶かすなど使用材料の原形をとどめないような使い方は不可とする。紙同士をボンドで接着してもよい。複数枚の紙をボンドで貼り合わせてもよい。ただし、単に紙自体の強度を増すなど、接着以外の目的で含浸処理を施さないこと。NC 工作機やレーザー加工機などによる自動切断・マーキングなどの加工も可能とする。

## ④ 印刷・着色

紙および製作物への着色およびプリントは行わない。

## ⑤ 支持条件

- ・ 橋梁を載せることができる支持部は、2 箇所まで水平支間長 900mm とする。
- ・ 支点の形状は、図 4、5、6 に示す通り等辺山形鋼（一辺 50mm）とし、2 点とも水平方向に移動不可能な支持条件とする。耐荷試験時に橋梁を載荷装置へ設置する際、橋梁が支点と接することができるのは、山形鋼頭頂部のみとする。また、載荷により橋梁が変形した場合には山形鋼の他の面に接触しても構わない。
- ・ 支点 Rb は、衝撃荷重を載荷するために上段と下段に分かれている。支点部上段には下段に設置されているガイドボルト（M10）を通す孔がΦ15mm であけられているため、競技中、水平支間長に多少の変化が生じる。そのことを前提に各条件を満足する橋梁とすること。

## ⑥ 載荷条件

橋梁への載荷は、静的荷重と衝撃荷重の 2 種類とする。

## (a) 静的荷重

図 2 に示す橋梁上面の支間中央から左右それぞれ 25mm の位置である Sa 点および Sb 点に載荷治具を同じ高さの位置に置き、載荷治具の他端同士を Sc 点でΦ22 の丸鋼を通し、その両端にナットを取り付ける。

なお、載荷治具（Sa 点、Sb 点）は、橋梁の上面で位置あれば、製作限界内に入っても構わない。Sa 点および Sb 点の高さは、橋梁を水平に置いたとき同じ高さとなるようにする。そして、載荷装置に設置した際に支点の高低差分だけ Sb 点が Sa 点より高くなるようにする。その時、製作誤差による高さのずれについては許容するものとする。ただ

し、橋梁の変形によって、Sa および Sb にある载荷治具の丸鋼が左右にずれることがないように、左右へのズレ止め機構（例えば、丸鋼が収まるくぼみ等）を施すようにする。ズレ止め機構の条件については、図 12 に示すものとする。载荷点 Sa および Sb を繋ぐ载荷治具を構造材として利用することはできないこととする。

Sc 点を通す丸鋼の中央には、载荷ワイヤー（鎖、もしくは、鎖状のもの）が掛けられる吊りピースが付いている。この吊りピースと载荷ワイヤーを結合することにより荷重を载荷する。なお、载荷ワイヤーを吊りピースに結合する際は、おもり受けと防振マットの距離を約 50～100mm を確保することとする。

#### (b) 衝撃荷重

後述する所定の静的荷重を载荷した後、衝撃荷重の载荷を実施する。衝撃荷重は、支点 Rb の上段と下段の鋼板の間にあるナット（六角ナット 1 種 M36）4 個を取り除き、支点部上段が落ちることにより加える。その時、ナットの高さ 29mm が衝撃荷重载荷時の落下高さとなる。

### (3) 競技方法

#### ① 仕様確認

仕様確認では、部材・橋梁の質量・橋長の計測のほか、以下の項目について検査を行う。

- ・ 部材数および部材が製作限界に収まっているか、確認用ケース内に部材が収まっていることで確認する。
- ・ 部材を 1 つの橋梁に接合し、橋梁が製作限界に収まっているか、確認用ケース内に橋梁が収まっていることで確認する。
- ・ 使用材料が規定と相違はないか。
- ・ 継手の重複可能部分の範囲が 150mm 以内かを確認する。

#### ② 作品の質量計測

大会当日の計量にはエー・アンド・デイ製 EK-4100i（秤量 4kg、最小表示 0.1g）を使用する。

#### ③ 審査員による審査

橋梁の設計趣旨、構造、デザイン性等について、橋梁およびプレゼンテーションポスターの評価により審査を行う。

- ・ 評価項目は、「作品の構造的合理性」、「作品の独自性」、「プレゼンテーションポスターの出来栄」、「審査員からの質疑応答」である。
- ・ 評価項目「作品の構造的合理性」、「作品の独自性」、「プレゼンテーションポスターの出来栄」については、事前に提出されたプレゼンテーションポスターおよび大会当日の展示橋梁の巡回により審査する。
- ・ 評価項目「審査員からの質疑応答」については、大会当日の展示橋梁の巡回の際に審査員が行う質疑に対する回答により評価する。したがって、審査員の巡回時には各チーム 1 名が橋梁の前で待機すること。なお、チームメンバーがプレゼンテーションを行う訳ではない点に注意すること。

#### ④ セッティング荷重

载荷治具、スプリングフック、载荷ワイヤー、おもり受け等の総質量約 8kg がセッティング荷重として作用するが、このセッティング荷重は耐荷荷重には含めない。

#### ⑤ 耐荷性能試験

耐荷性能試験の登壇者は、各チーム 3 名以内とする。登壇者は、ヘルメット、ゴーグル、軍手、安全靴を着用し、長袖、長ズボンの服装であることとする。なお、ヘルメット、ゴーグル、軍手については、主催者側で用意するが、安全靴は各高専で準備すること。以下、(a)～(e)に耐荷性能試験の詳細を示す。

##### (a) 载荷順

競技は、3 台もしくは 4 台の载荷装置を用い、3 組もしくは 4 組同時に载荷試験を実施する。载荷順については、原則として質量の重い順（軽量点の低い順）とする。同一高専で 2 橋を応募した場合（「3. 応募資格」に記載）、当該高専の 2 橋のうち質量の重い橋を 1 日目に载荷試験し、残りの橋を 2 日目に载荷する予定である。

##### (b) 载荷装置への設置

载荷装置への設置とは、以下の作業を完了することである。

- ・ 複数の部材を接合し 1 つの橋梁とする。
- ・ 載荷治具を橋梁へ設置する。
- ・ 橋梁を載荷台へ設置する。
- ・ 載荷治具の吊りピースと載荷ワイヤーとを結合し、おもり受けを防振マットから浮かせる。

すなわち、載荷装置への設置とは、セッティング荷重が橋梁に作用する状態にすることである。

載荷装置への設置は、「競技開始」の合図から 90 秒以内に行い、完了した時点で、手を挙げて競技審判に設置完了を知らせること。なお、合図があってから部材を 1 つにつなぐこととし、合図までは部材は分かれた状態にしておくこととする。合図から 90 秒を超過して設置が完了した場合は、載荷による得点に 0.9 を乗じた値が競技得点となる。設置完了後、競技審判が「支持条件」および「載荷条件」を満足しているかを 10 秒程度で確認する。

#### (c) 静的荷重の載荷

初期荷重は 10kg とし、40kg まで 10kg 刻みで静的荷重を載荷する。各載荷段階において、載荷後 10 秒間の耐荷状態の確認を競技審判が行った後、次の載荷を行う。なお、耐荷状態とは、おもり受けが防振マットに接していない状態のことである。おもり受けが防振マットに接した場合、橋梁に破断が生じていなくても「崩壊」しているものとみなして競技を終了する。また、図 12 に示すようにズレ止め機構の載荷治具 Sa 点および Sb 点の丸鋼が載荷試験中に橋梁内に 11mm を超えて入った場合は「崩壊」とみなして競技を終了する。

#### (d) 衝撃荷重の載荷

静的荷重 40kg に対して耐荷したことを確認でき次第、衝撃荷重の載荷を行う。

支点 Rb の上段と下段の鋼板の間にあるナット 4 個にはそれぞれ紐が通されており、それを引張ることでナットを取り除き支点部上段を落下させる。その時、ナットに通された紐以外に触れることはできない。ナット 4 個が確実に除去された時点から 10 秒間の耐荷状態（「(c) 静的荷重の載荷」記載と同様の状態）が確認できれば衝撃荷重に対して耐荷したこととする。なお、ナットの除去においては、一度に除去する個数や順序は指定しない。加えて、ナット 4 個を除去した時にガイドボルトに支点部上段の鋼板に設けた孔がボルトに引掛かり、支点部上段が斜めになった場合でも、ナット 4 個が除去されていれば耐荷状態の確認を行う。

#### (e) 競技得点

競技得点は、以下の式で算出する。

$$\begin{aligned} \text{競技得点} &= (\text{静的載荷得点 } 40 \text{ 点} + \text{衝撃載荷得点 } 10 \text{ 点} + \text{軽量点 } 20 \text{ 点}) \\ &\quad \times \text{設置時間係数}(1.0, \text{遅延 } 0.9) \\ &\quad \times \text{部材数係数(部材数 } 2: 1.0, 3: 1.1, 4: 1.2) \\ &= 84 \text{ 点満点} \end{aligned}$$

ここで、

- ・ 静的載荷得点：耐荷荷重の kg 数を点数とする（満点 40 点）。
- ・ 衝撃載荷得点：10 点
- ・ 軽量点：満点 20 点とし、軽量順で 1 位のチームに 20 点を与える。2 位以降については、1 位のチームの質量をチームの質量で除して、それに 20 点を掛けた点数を与える。（例えば、1 位のチームの質量が A、2 位のチームの質量が B である場合、 $(A/B) \times 20$  で計算した値を 2 位のチームの点数とする。3 位以下も同様の計算を行って点数を決める。）なお、作品を載荷装置にセットし、かつ、吊りピースと載荷ワイヤーの結合までを行い、「(c) 静的荷重の載荷」に入る前に耐荷状態でなくなった場合は軽量点の対象としない。
- ・ 設置時間係数：(b) 載荷装置への設置において 90 秒以内に設置が完了した場合、1.0 とし、設置が完了しなかった場合、0.9 する。
- ・ 部材数係数：橋梁を分割した部材数が、2 の場合：1.0、3 の場合：1.1、4 の場合：1.2、とする。

## 2. 応募方法等

Web による手続きとする。

### (1) 募集要項に対する質疑

- ① 受付期間：2023年4月24日（月）～5月8日（月）17:00
- ② 質問方法：デザコン2023 in 舞鶴公式ホームページ（<https://デザコン.com/>）の構造デザイン部門の「質疑受付」から行う（Google アカウント必要）。
- ③ 回答公開：5月中旬～5月下旬に、デザコン2023 in 舞鶴公式ホームページの構造デザイン部門の「質疑応答」にて、回答の内容を公開する。あわせて、募集要項の更新も随時公式ホームページ上にて行う。

### (2) エントリー手続き

- ① 受付期間：2023年9月25日（月）～10月2日（月）17:00
- ② 応募方法：デザコン2023 in 舞鶴公式ホームページの構造デザイン部門の「エントリー」から行う（Google アカウント必要）。
- ③ 項目記入上の注意：

記入する項目は、・学校名 ・作品名（仮称でも構わないが同一高専で異なる名称とする） ・チーム学生ならびに指導教員に関する情報 である。

エントリーフォームには、システムの都合上、「4. 作品概要 作品概要を400字以内で簡潔に表現して下さい。」とあるが、本エントリー手続きにおいては提出を求めない（プレゼンテーションポスターの事前提出時に合わせて提出してもらう予定）。しかし、フォームには何らかの文字を入力しなければならない仕様となっている。そこで、仮に所属する学校名を入力すること（「舞鶴高専」など）。

また、「43. ファイルのアップロード」についてもここではファイルのアップロードを求めないので、ファイルのアップロードは不要である（作業風景の写真、チームの集合写真をプレゼンテーションポスターの事前提出時に合わせて提出してもらう予定）。
- ④ 受領確認：エントリーの受付確認に関しては、エントリーで入力された代表者および指導教員のメールアドレスへ内容受付のメールを自動配信する。メールアドレスについては入力ミスがないように十分確認すること。
- ⑤ エントリーリストの公開：

2023年10月10日（火）以降にデザコン2023 in 舞鶴公式ホームページ上にリストを公開する。エントリーしたチームはエントリーリストを必ず確認し、エントリー受付漏れがあった場合は2023年10月16日（月）17:00までに下記メールアドレスに連絡すること。2023年10月16日（月）17:00以降のエントリー訂正等は受け付けないので注意する。なお、エントリーの確認をもって、「全国高等専門学校デザインコンペティション2023 in 舞鶴 構造デザイン部門」への出場権を得たものとする。

舞鶴工業高等専門学校 構造デザイン部門事務局 e-mail ; dc-23kozo@maizuru-ct.ac.jp

### (3) 本選への参加

本選は 2023 年 11 月 11 日（土）および 12 日（日）に実施する。本選の詳細「本選出場要項等」に関しては、9 月中旬にデザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページにて公開する。参加チームは、① プレゼンテーションポスター、② 作品を大会当日に持参すること。

#### ① プレゼンテーションポスター：

- ・ A2 サイズ（横向き）で作成し、大会当日の受付後に指定箇所に掲示する。
- ・ プレゼンテーションポスターには、1. 学校名、2. 作品名、3. コンセプト、4. 模型の写真、5. アピールポイント、の 5 項目を必ず記載すること。

#### ② 作品：

- ・ 作品は原則大会当日に持参することとするが、宅配を希望する場合は後日公開する手続き方法に従うこと（外形 3 辺合計 140cm 以内の箱に入れ発送することを求める予定である）。

### (4) プレゼンテーションポスターデータの事前提出

① 提出期間：2023 年 10 月 30 日（月）～ 11 月 6 日（月）17：00

② 提出方法：プレゼンテーションポスターデータの提出方法等の詳細は、本選出場要項に記載する。

※事前提出されたプレゼンテーションポスターは審査員による審査の対象となる。

### (5) 参加費

- ・ 参加費は、1 チーム当たり 8,000 円とする。
- ・ 参加費は、2023 年 10 月 10 日（火）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 振り込み者名は、「高専名の略称、空白、担当者名」とすること。

例) マイヅル 23 コウセンタロウ

- ・ 振り込まれた参加費ついて、いかなる場合においても返金には応じない。

#### 【振込口座】

銀行名：ゆうちょ銀行
店名：四四八（読み：ヨンヨンハチ）
店番：4 4 8
口座種別：普通預金
口座番号：5 3 6 1 1 2 4
口座名義：全国高等専門学校デザインコンペティション ゼンコクコウトウセンモンガッコウデザインコンペティション

### 3. 応募資格

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生及び専攻科生とする。
- (2) チームは個人もしくは6名以内のグループで構成する。
- (3) チームメンバーの所属する学科や専攻は問わない。
- (4) 同一人物が他部門も含め複数のチームに参加することは認めない。
- (5) 応募作品は各チーム1つとして、かつ、同一高専で2つまで応募できる。ただし、同じ高専で形や、構造コンセプト（力の流れや負担の仕組み）が同じ作品は認めない。そのような作品が提出された場合は、どちらかひとつの作品を参考載荷とする、もしくは競技参加を認めないことがある。

### 4. 審査員

委員長：岩崎英治（長岡技術科学大学 教授）

委員：中澤祥二（豊橋技術科学大学 教授）

委員：小島 優（国土交通省 近畿地方整備局 企画部 部長）

### 5. 表彰

- (1) 最優秀賞（国土交通大臣賞（予定））1点
- (2) 優秀賞 2点
- (3) 審査委員特別賞 2点  
※ (3)の審査委員特別賞 2点については、耐荷性能試験を全てクリア（50点を獲得）した作品のみを対象とし、審査委員の独自の観点で選定を行う。

### 6. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載また Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには応募作品とともに参加者、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。

### 7. 付記

- (1) プレゼンテーションポスターの作成にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現にすること。
- (2) 応募作品の取り扱いにおいて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。また、輸送時の損傷についても主催者は一切責任を持たない。
- (3) 応募要項に違反した場合は失格となる場合がある。

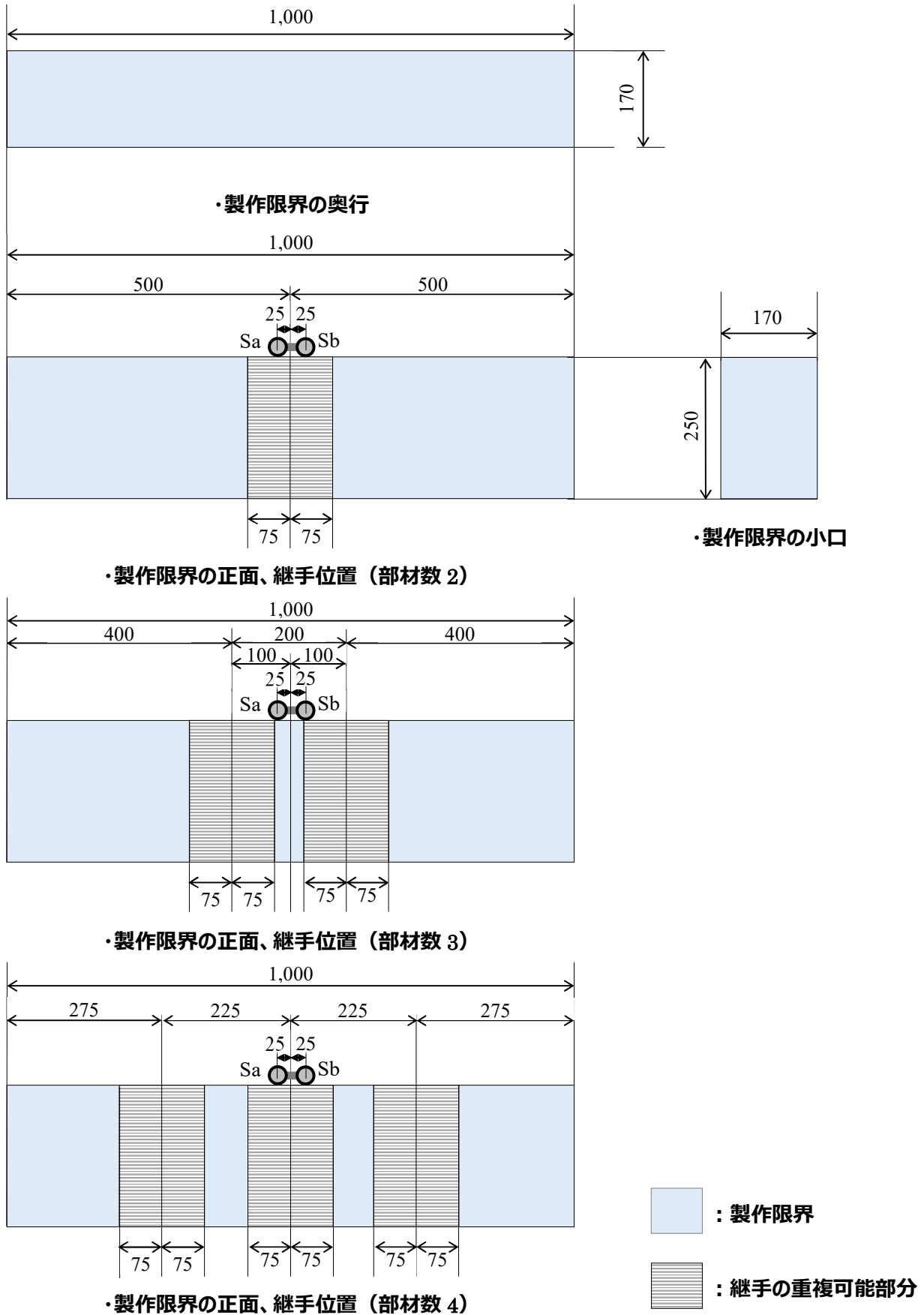


図 1 製作限界と各部材数で定める継手の重複可能部分 (単位 : mm)

※補足として各正面図には Sa 点、Sb 点の位置を描き加えている



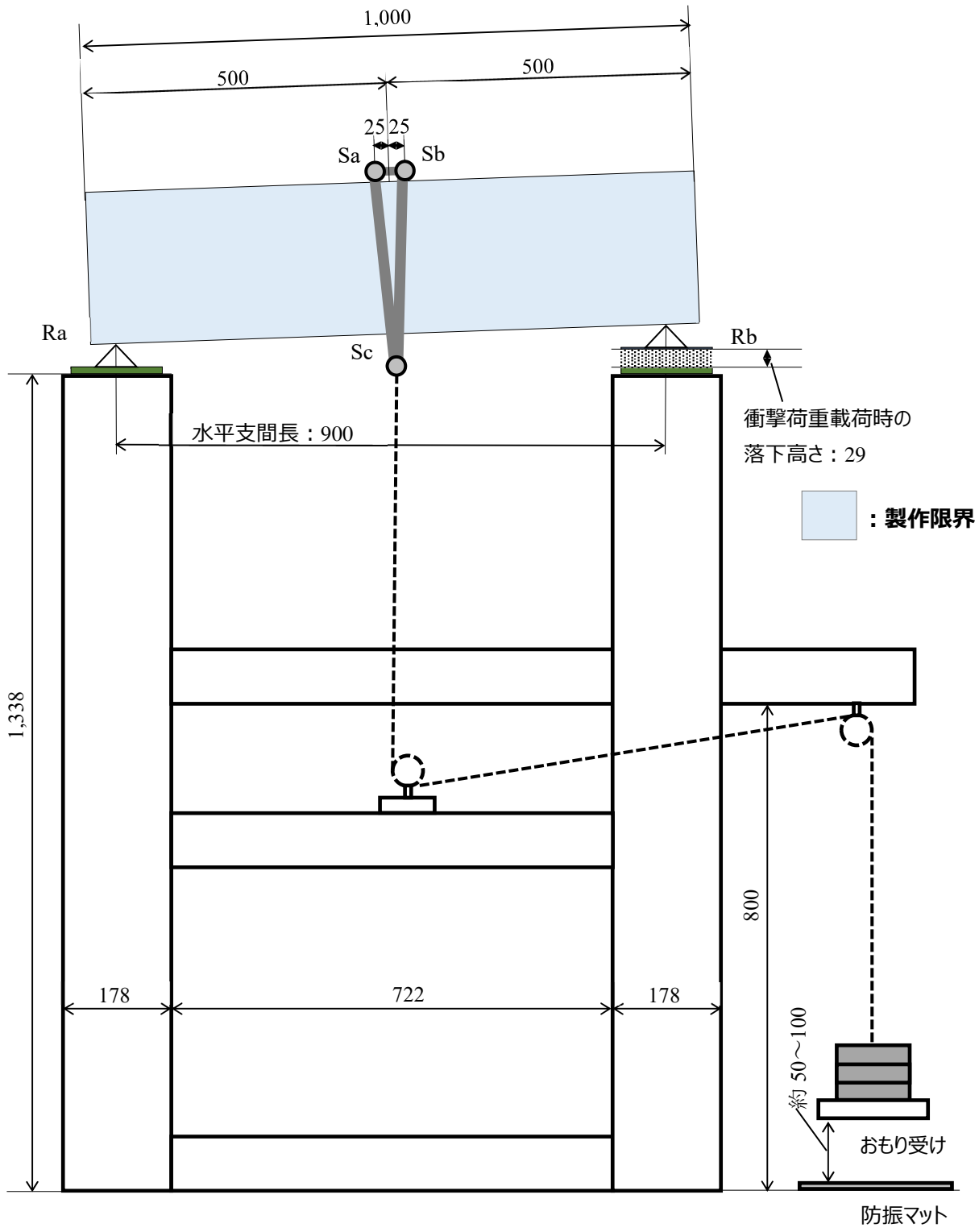


図 2 载荷装置と製作限界立面図（衝撃荷重載荷前、単位：mm）

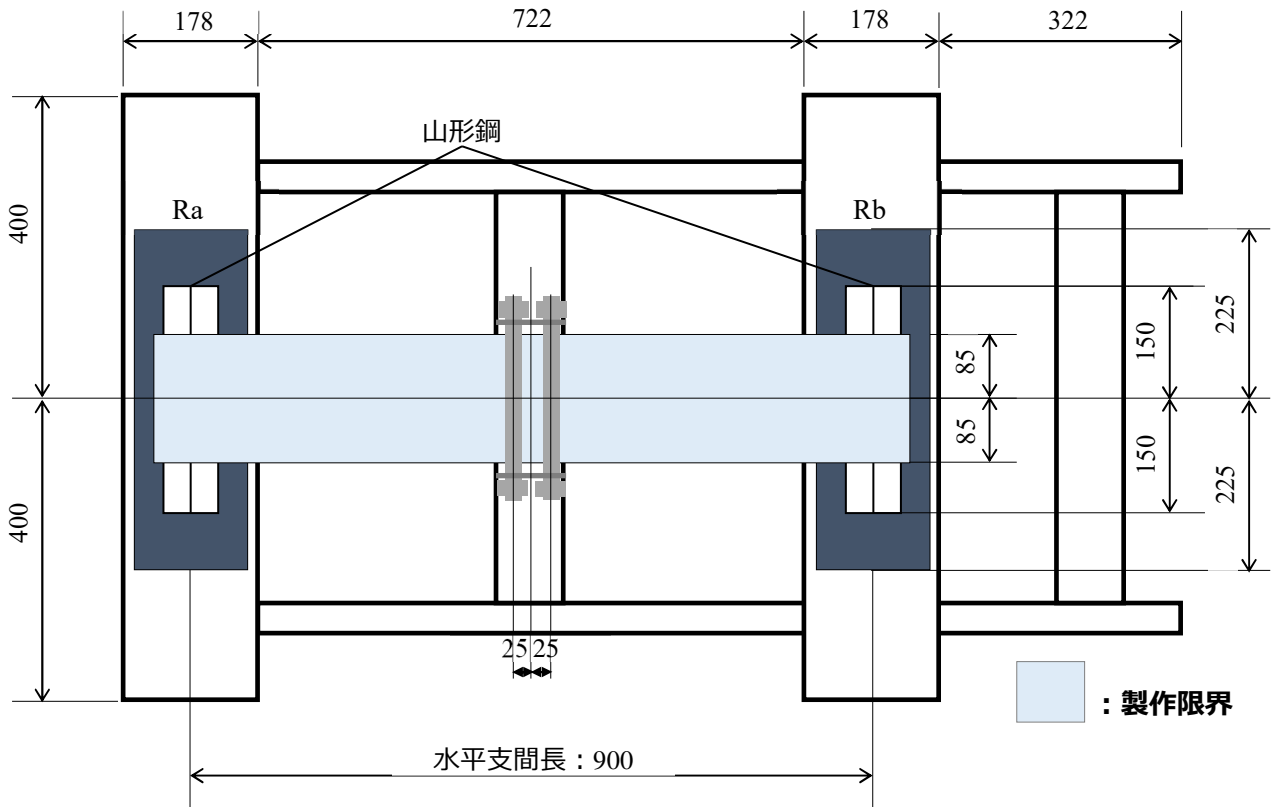
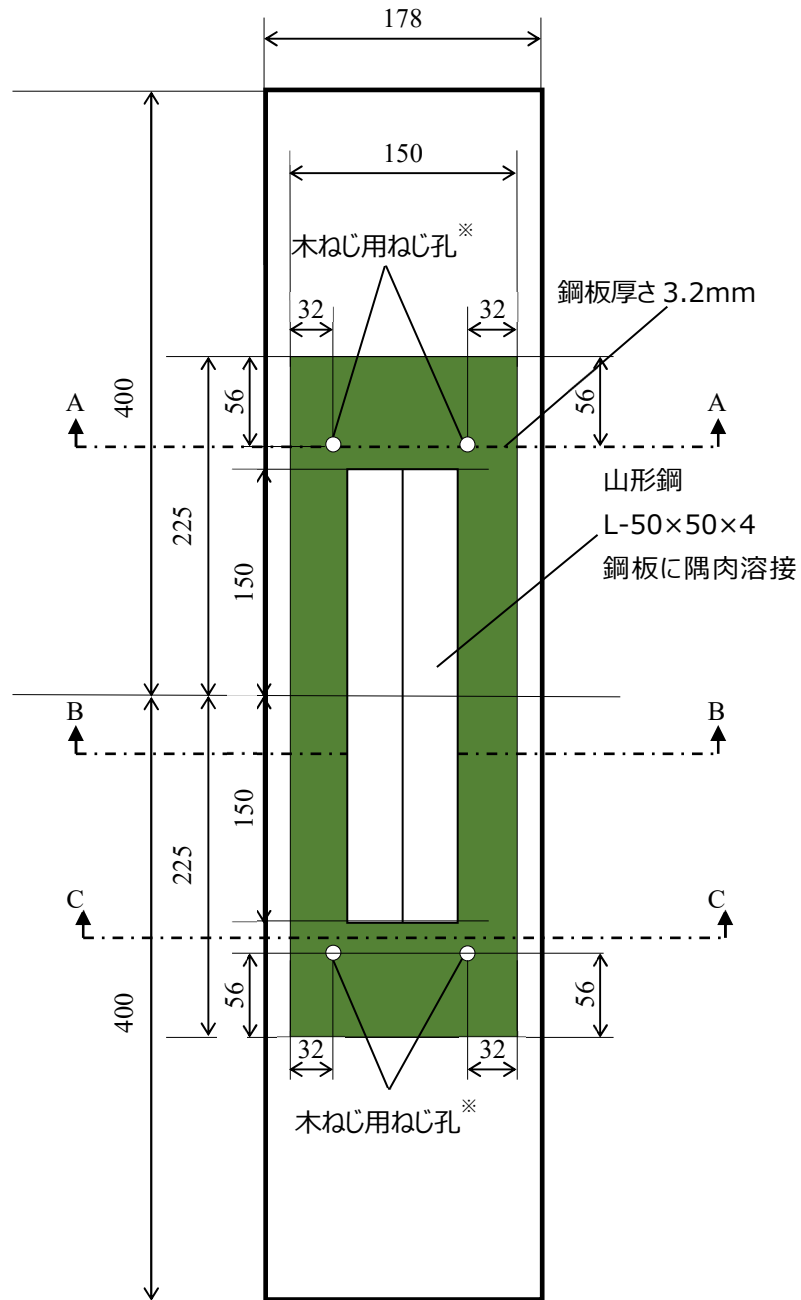


図3 载荷装置と製作限界平面図（衝撃荷重载荷前、単位：mm）



※各「木ねじ用孔」は、呼び M5、頭径 10mm のタッピング皿ねじが鋼板内に十分埋まるように孔あけ、ザグリ加工をしている（位置も含めて以降の他のねじ孔も同様）。

図 4 Ra 支点付近平面詳細図（単位：mm）

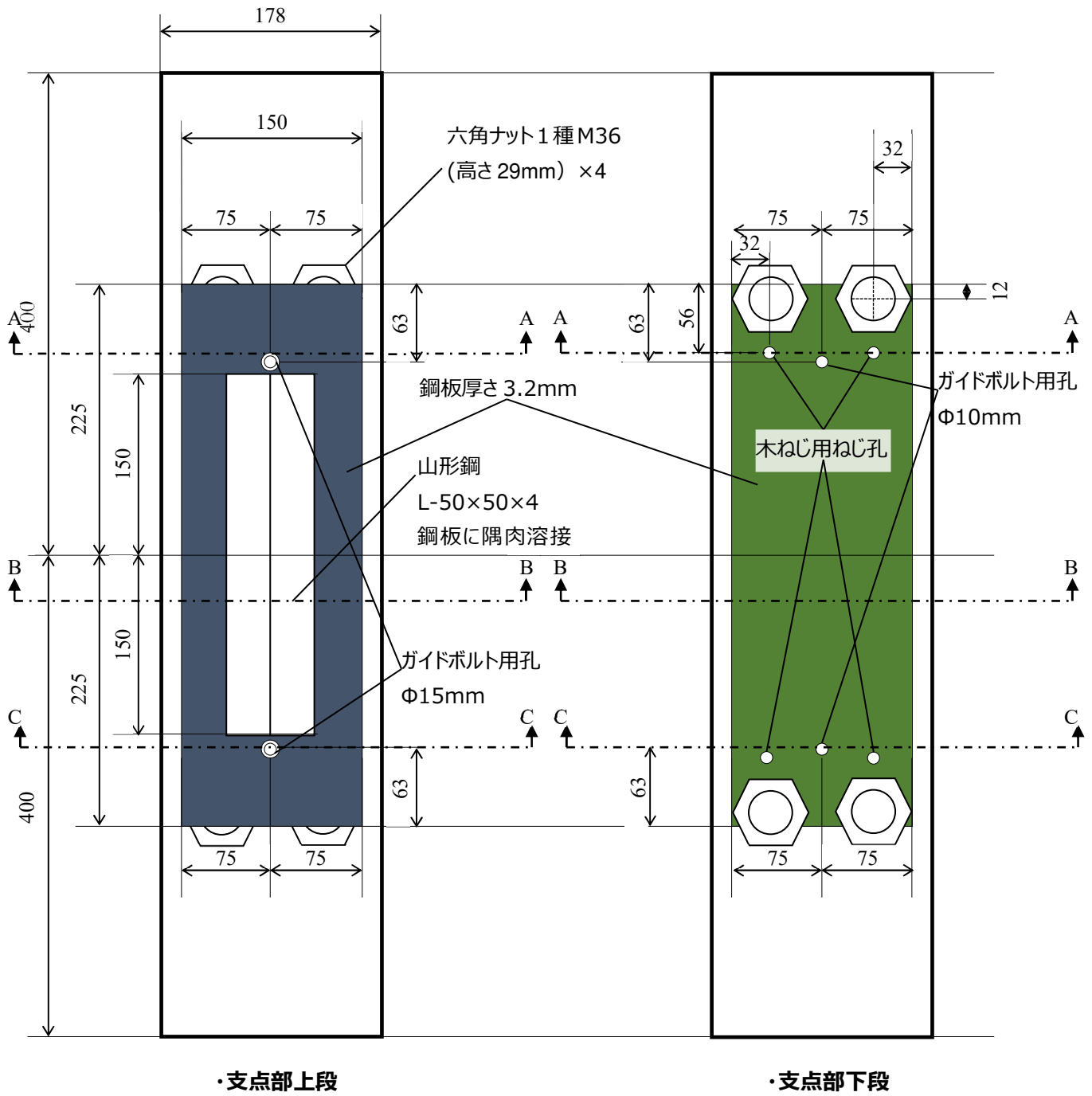


図 5 Rb 支点付近平面詳細図 (単位 : mm)

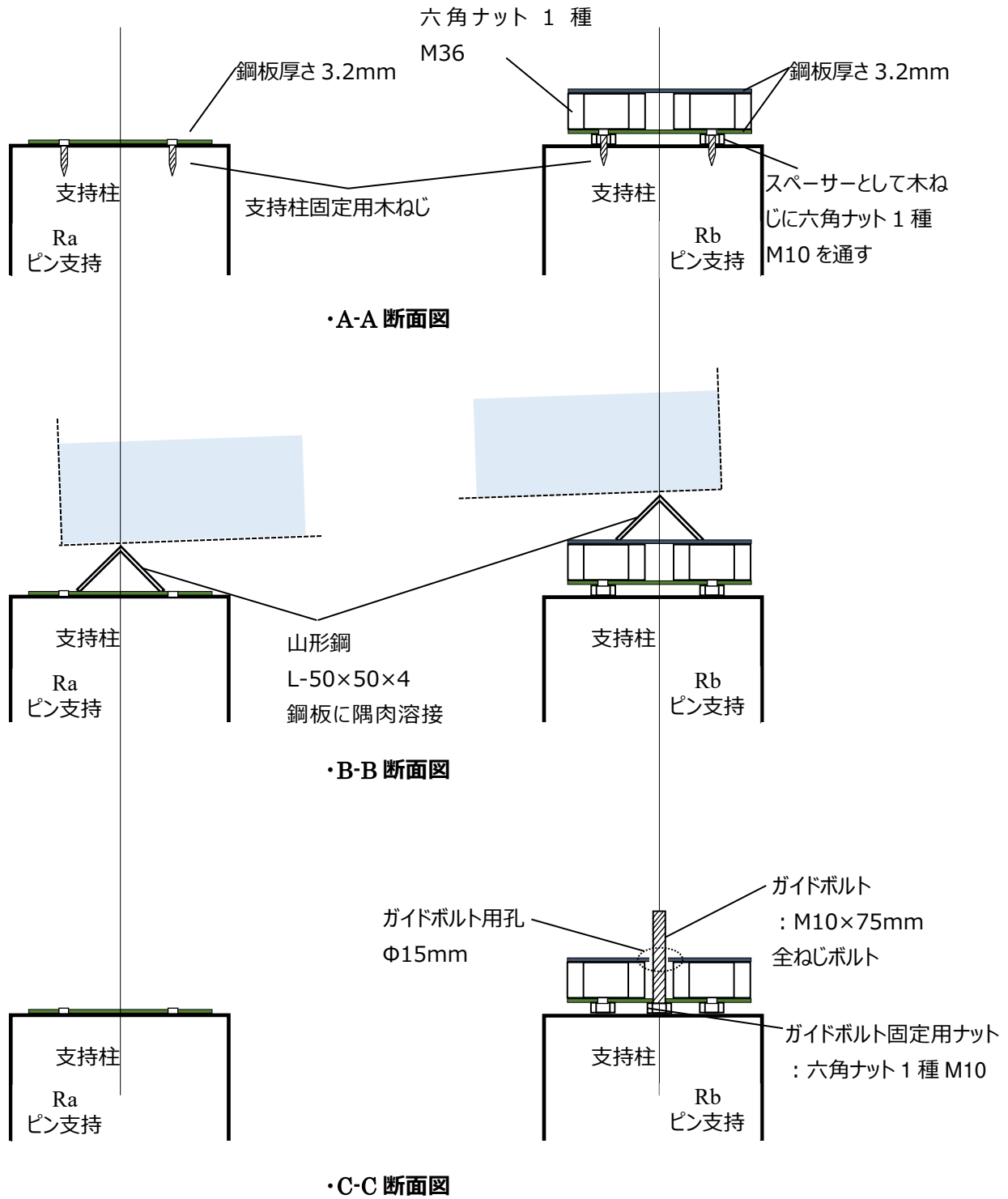


図 6 Ra、Rb 支点付近断面詳細図 (単位 : mm)

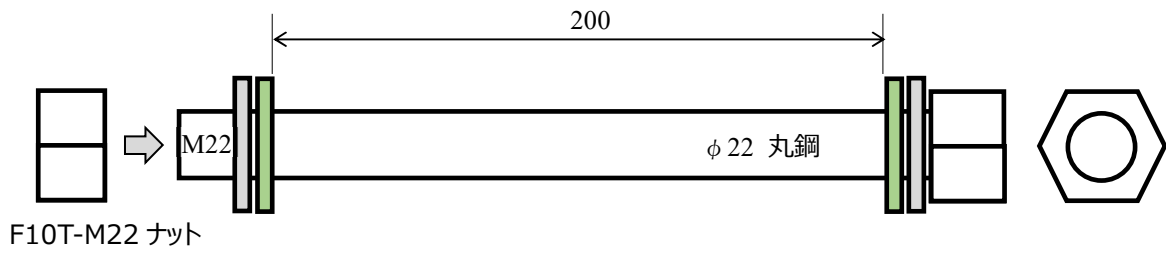


図 7 Sa、Sb ピン支承丸鋼

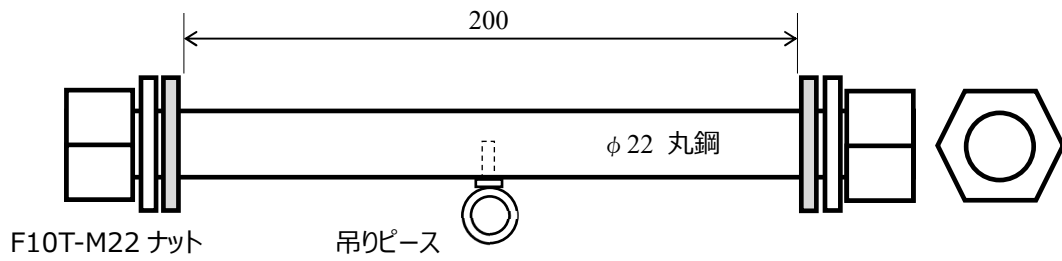


図 8 Sc ピン支承丸鋼

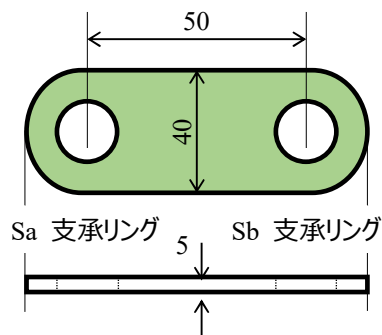


図 9 Sa - Sb 载荷治具

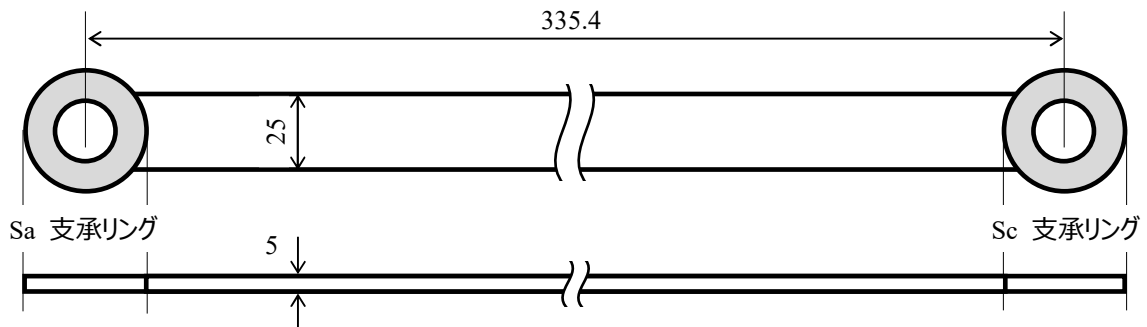


図 10 Sa - Sc 载荷治具

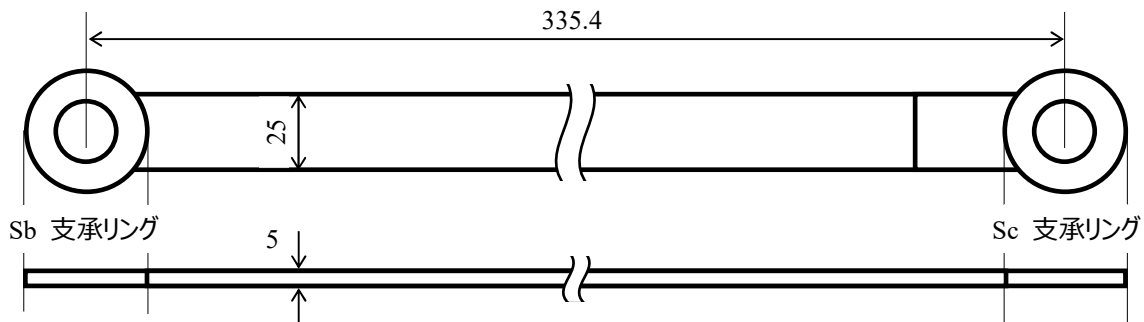


図 11 Sb - Sc 载荷治具

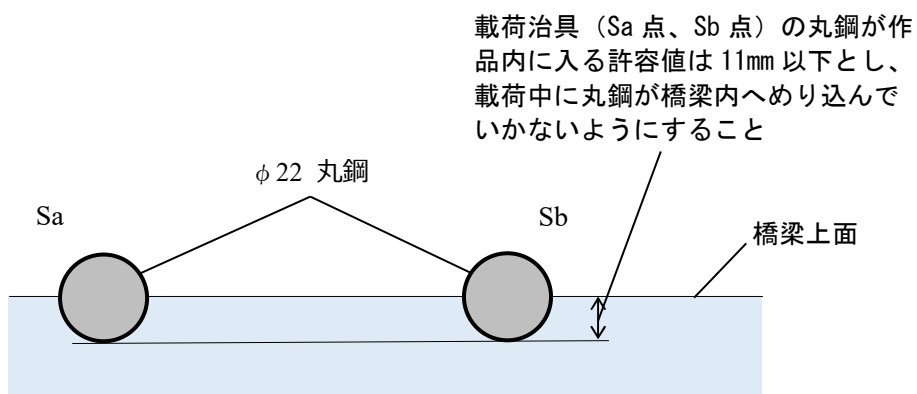


図 12 载荷治具のズレ止め機構の条件

## 構造デザイン部門 募集要項 補足資料

### -衝撃荷重の載荷について-

舞鶴大会で新たに挑戦してもらう衝撃荷重の載荷について補足説明をします。参考にしてください。

ただし、ここで示す動画や写真は、ナットの除去や支点 Rb 上段が落ちる様子を示すものであり、橋梁の設置、静的荷重の載荷などは実際の競技方法とは異なる点があることに注意してください（記載内容以外は 4 月 4 日公開の募集要項を参照）。

#### (1) 衝撃荷重載荷の様子（動画）

以下の QR コードからデザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページにアップしてある動画を確認してください。



動画 1 衝撃荷重載荷（斜めから）

URL



動画 2 衝撃荷重載荷（正面から）

URL

#### (2) 衝撃荷重載荷時の注意事項（補足）

- ・ ナットに通される紐の長さは、紐が結ばれている六角の直線部分から 1000mm±10mm とする。
- ・ 「募集要項」p.12、図 5 に示されている位置にナットを置いた際、紐は支点部上段および下段の鋼板に挟まれていない状態である。
- ・ 橋梁の下に体の一部を入れた上でのナットの除去は非常に危険であり、禁止する（写真 1）。
- ・ ナットを除去する際、ナットの正面に立ち手前（胸の方向）に紐を引くと、飛んできたナットが体に当たる恐れがある。横や斜め後ろに引くなどしてナットとの接触が無いように気を付けること（写真 2）。





写真1 橋梁の下に体を入れてのナット除去（禁止）

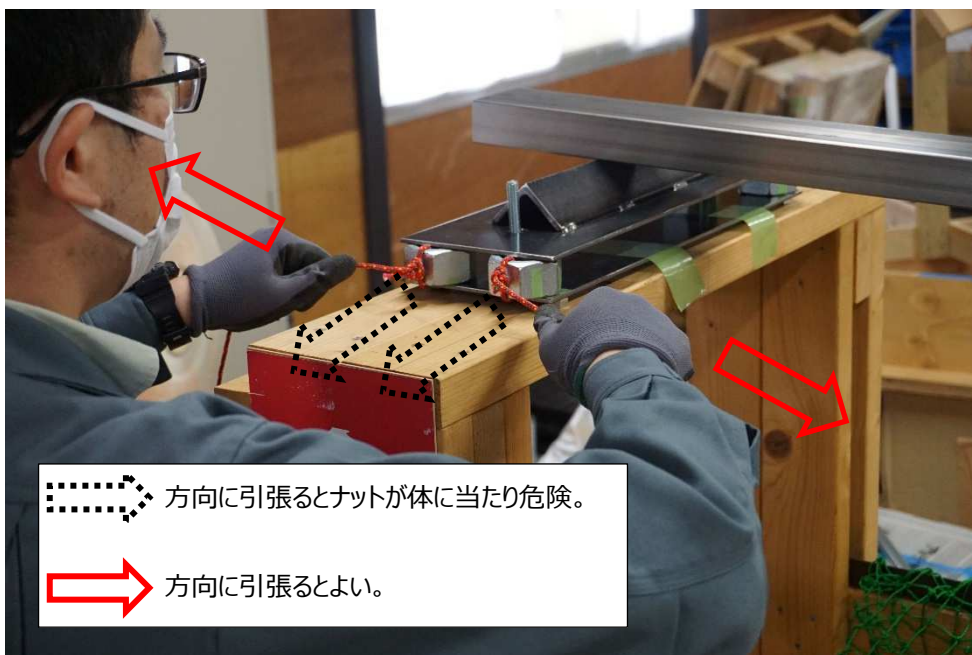


写真2 紐の引張り方

## 構造デザイン部門

## ☆質疑に対する回答

No.	質問校	質問	回答
1	明石高専	「载荷により橋梁が変形した場合には山形鋼の他の面に接触しても構わない」とあるが、セッティング荷重で橋梁が変形し、山形鋼の頭頂部以外と接触してしまった場合、競技を継続することができるのか。	要項 p. 3～(3) 競技方法 ⑤耐荷性能試験 (b) 载荷装置への設置において、セッティング荷重が橋梁に作用する状態になった際に橋梁が変形することで山形鋼の頭頂部以外に接触することは認めません（競技審判が接触を確認した場合は崩壊と判定）。一方で、(c) 静的荷重の载荷において、初期荷重 10kg を载荷した後は橋梁が山形鋼の辺部分への接触した場合でも競技を継続します。ただし、山形鋼以外の部品への接触は認めません（崩壊と判定）。
2	明石高専	「载荷後 10 秒間の耐荷状態の確認を競技審判が行った後、次の载荷を行う」とあるが、耐荷状態の確認前に、次のおもりを取りに行く等の準備をし、10 秒経過後、すぐに次のおもりを載せることは可能か。	安全のために、おもり受けから一定の範囲を設定しその範囲外でのおもりの準備と待機は可能にする予定です。そして、おもりは载荷装置から一定距離離れた所に置いておきます。
3	明石高専	衝撃荷重を载荷するナットは、橋梁の設置時や静的荷重の载荷時にずれないようにしているのか。	ナットは支点部上段と下段の 2 枚の鋼板に挟まれる形で置かれているだけで、支点部上段と橋梁、载荷治具の自重と静的荷重で押さえられています。 要項 p. 3～(3) 競技方法 ⑤耐荷性能試験 (b) 载荷装置への設置後にナットのズレを競技審判がチェックすることがあります。
4	群馬高専	1 高専で二チーム出す場合、3. 応募資格の(5)項において、同じ形等の基準がいまいちわからないのですがより詳細を提示していただくことは可能でしょうか。	要項 p. 6、3. 応募資格 (3) の記述内容の通りです。最終的な判断は審査員が事前提出されたプレゼンテーションポスターおよび当日の橋梁を基に判断します。なお、これはあくまで一例に過ぎませんが、例えばアーチ形状の橋とトラス形状の橋であれば、明らかに形や構造コンセプトが異なります。

5	和歌山高専	コンセプトの「力の流れや負担の仕組み」とは何か、具体的にしてほしい。	回答 No. 4 を参照してください。
6	和歌山高専	初期荷重時に支点の等辺三角形の頂点に橋は食い込んでもいいのか。	回答 No. 1 を参照してください。
7	大阪公立大学高専	製作限界についての質問です。「耐荷試験時に橋梁を載荷装置へ設置する際、橋梁が支点と接することができるのは、山形鋼頭頂部のみとする。」とありますが、この条件において頭頂部とは山形鋼の角のただ一辺を指すのか、またはその周囲の幾らかの範囲までを指すのかを知りたいです。	回答 No. 1 を参照してください。 頭頂部は、山形鋼 (L-50×50×4) の角の 1 辺とします。
8	舞鶴高専	要項 2 ページ目の支持条件 2 項目に、載荷により橋梁が変形した場合には山形鋼の他の面に接触しても構わない」とありますが、初期荷重を作用させた際に変形して他の面に接触してもいいのでしょうか。	回答 No. 1 を参照してください。
9	舞鶴高専	載荷台の支点部の山形鋼に設置のための中心線は引かれているのでしょうか。	山形鋼には中心線は設けません。ちなみに山形鋼の長さは 300mm とします。
10	舞鶴高専	ナットを抜き鋼板を落下させる際に、支点部分がガイドボルトに引っかかり上手く落下しないという事態が起こった時には、どのような対応が取られるのでしょうか。	要項 p. 4、(3) 競技方法 ⑤耐荷性能試験 (d) 衝撃荷重の載荷に記してある通り、ナット 4 つが確実に除去され、ナット全面が鋼板に接触しない状態となれば衝撃荷重を載荷したこととします。
11	呉高専	載荷装置の設置の際に踏み台を持ち込み、使用してもよいか。	載荷装置への設置時に踏み台を使用しても構いません。
12	呉高専	部材数が四つになる場合、作品が昨年に比べて複雑になるが載荷台付近に橋を組み立てる机などのスペースはあるか。	組み立て用の机の用意はありません。ただし、舞台上の床の上で組み立てることは可能です。
13	呉高専	P.1 1. 競技内容 (1) 審査方法 ①競技得点 競技得点において得点が小数点以下であった場合、どのように計算をするのか。	競技得点の計算結果の小数第 2 位を四捨五入して小数第 1 位としたものを競技得点とします。

14	呉高専	P.2 競技内容 (3) 競技方法 ③ 審査員による審査 「なお、チームメンバーがプレゼンテーションを行う訳ではない点に注意すること。」とあるが、どの程度であれば審査員にアピールを行ってもよいのか。	要項 p.3、(3) 競技方法 ③審査員による審査においては、審査員から発言(質問)を始めることとし、それに対する回答の範囲内で説明をするようにして下さい。
15	呉高専	P.4 1. 競技内容 (3) 競技方法 ⑤耐荷試験 (d) 静的荷重の載荷 「載荷後 10 秒間の耐荷状態の確認を競技審判が行った後、次の載荷を行う。」とあるが、その 10 秒間で次の重りを取りに行き、重り受けまで接近することは可能か。不可能であるならば、載荷台から重りまでの具体的な距離を教えてください。	回答 No.2 を参照してください。
16	呉高専	P.4 1. 競技内容 (3) 競技方法 ⑤耐荷試験 (d) 衝撃荷重の載荷 「鋼板の間にあるナット 4 個にはそれぞれ紐が通されており」とあるが、試験中に紐がちぎれたらどうなるのか。また、引張る人の人数に制限はあるか。	競技中に紐が切れることが無いように材料、結び方に留意し、定期的に点検と紐の交換を行う予定です。 また、引張る人の数は、登壇できる最大人数 3 名の範囲であれば制限はありません。
17	呉高専	P.4 1. 競技内容 (3) 競技方法 ⑤耐荷試験 (d) 衝撃荷重の載荷 「鋼板の間にあるナット 4 個にはそれぞれ紐が通されており」とあるが、使用している紐の素材や太さについて詳しく教えてください。	公開した動画では、ナイロン製、φ 3.5mm の紐を使用しています。大会では、同様の素材、太さ(径)の紐を使用する予定です。
18	呉高専	P.4 1. 競技内容 (3) 競技方法 ⑤耐荷試験 (d) 衝撃荷重の載荷 「ナット 4 個が確実に除去された時点」とあるが、ナットが外に抜かれた瞬間か、それとも、支点部上段が支点部下段に接触した後、数秒間落ち着くまで待ち、確認を行った後かどうか。	4 個全てのナットが外れた瞬間から競技審判が時間の計測を開始します。
19	有明高専	載荷により橋梁が変形した場合には山形鋼の他の面に接触しても構わない、とあるが、故意に変形を起こして他の面に触れさせるような機構を設けてもよいのか。また、橋の設置後にそれが生じてもよいのか。	回答 No.1 を参照してください。

20	有明高専	部材以外の部品等(例えば、くさびや込み栓等)を用いずに接合し、とあるが、くさびや込み栓自体が部材とつながっていれば一つの部材としてみなせるのか。	部材とつながっている上で、継手の重複可能部分で接合できるのであれば問題ありません。
21	秋田高専	衝撃载荷を行う際、ナットを引っ張る人数に制限はありますか。	回答 No. 16 を参照してください。
22	秋田高専	衝撃载荷において、1つのナットを除去しない程度に引っ張ってずらした状態で、ほかのナットを引っ張る、また除去することは可能ですか。	各ナットを少しずつ引張ってずらしながら除去することは可能です。
23	秋田高専	衝撃载荷において、10秒間のカウントを開始するのは、ナットが除去されているのを審査員が確認してからですか、それとも载荷を行う高専側が挙手する等の合図を出してナットを完全に除去したということを審査員に申告してからでしょうか。	回答 No. 17 を参照してください。 その際に、競技者(高専側)の挙手等の合図は不要です。

デザコン2023 構造デザイン部門 エントリー一覧

作品番号	学校名	作品名・氏名・学年（○は代表学生）
1	福井高専	<b>金剛</b> ○小谷朝日（4年） 松本征也（4年） 中出咲良（4年） 佐々木俊亮（4年） 畑季佑（4年） KONGSRI WIRINYA（4年）
2	福井高専	<b>雅</b> ○南北城（4年） 保木克也（4年） 大江康二郎（4年） 小林佑子（4年） 高間海友（4年） 石田誠一郎（2年）
3	鹿児島高専	<b>桜島BridgeⅢ</b> ○川元隆太郎（5年） 亀井湖乃羽（5年） 池亀せいら（5年） 紙屋琉（5年） 藤原嶺哉（5年） 廻歩夢（5年）
4	群馬高専	<b>阿咩〜A・UN〜</b> ○佐竹海聖（5年） 青木匠（5年） 志村美月（2年） 杉原菜々（2年） 堀越菜月（2年） 平田花菜子（1年）
5	高知高専	<b>らんまん</b> ○篠田侑希（5年） 濱田健志（5年） 門脇雄大（5年）
6	和歌山高専	<b>ハシノディクタス</b> ○伊賀康将（4年） 野田朔矢（4年） 山崎宇槻（4年） 西崎郁馬（4年） 西野成河（4年） 森下聖矢（4年）
7	豊田高専	<b>軸力しか勝たん橋</b> ○福岡葵（専攻科1年）
8	津山高専	<b>GOnGO-bashi</b> ○高石若葉（5年） 藤田愛生（5年） 渡邊雪菜（5年）
9	大阪公立大学高専	<b>ペジータの肩</b> ○針原豪希（4年） 阿部まみ（4年） 一口凌太郎（4年） 阪谷章太（4年） 山本光（4年）
10	釧路高専	<b>三稜橋</b> ○佐藤侃音（5年） 本橋幸大（5年） 藤村葉月（2年） 星野未優（2年） 植竹文花（2年）
11	松江高専	<b>Secundus Pons</b> ○友國健晟（4年） 米原瑞揮（4年） 大西成弥（4年） 大島康生（4年） 蓮岡慶行（5年） 新崎真央（3年）
12	鶴岡高専	<b>福虹</b> ○保科来海（4年） 渋谷優貴（5年） 福定隼也（5年）
13	鶴岡高専	<b>Tsurupezoid</b> ○奥山流唯（4年） 小野寺泰河（4年） 古城駈（4年）
14	福島高専	<b>ふぁみりい</b> ○吉田里奈（4年） 門脇真音（4年） 宗塚彩乃（4年） 大津留優空（2年） 栗原颯太（2年） 三瓶蒼惟（2年）
15	苫小牧高専	<b>連理の枝</b> ○村上拓郎（5年） 菅原詠子（5年） 川上颯太（5年） 林恵伸（5年） 宮越陽己（5年） 中村優太郎（5年）
16	IETモンゴル高専	<b>ささえあい</b> ○バダルチ ツォクトビレグ（5年） ダヴァドルジ バトエレデネ（2年） ナランバートル オロソー（3年） バトクタグ ホロルスレン（3年） トモルフヤガ トゥシンバヤル（5年）
17	IETモンゴル高専	<b>Fusions</b> ○ムンフボルド ノムンダリ（5年） ゴトラ フレルエルデネ（3年） サンダグドルジ ソルバヤル（3年） トゥップシンサイハン マンライバヤル（3年） ハリウンアー アリウンセテゲル（2年）
18	明石高専	<b>氷ノ山</b> ○寺坂拓磨（4年） 武田隼（4年） 羽瀧陽向（4年） 松原直己（4年） 村上奨（4年） 渡邊由恭（4年）
19	石川高専	<b>略略録</b> ○岡田光（2年） 清造竜之丞（2年） 中田匠映（2年） 野澤孝友（2年）
20	舞鶴高専	<b>押しの弧</b> ○下山慶（5年） 小谷和輝（5年） 稲葉壮希（5年） 川村拓海（4年） 齊藤花埜（2年） 尾田ほのか（1年）
21	舞鶴高専	<b>白銀の応力</b> ○井上博之（3年） 石原有佑子（5年） 平中太朗（3年） 石崎裕生（2年） 荻野歩（1年） 植西佐（1年）
22	徳山高専	<b>繫弓</b> ○中谷怜奈（4年） 窪田結（専攻科1年） 廣中隼輝（3年） 福谷遥（2年） 有馬虎珀（1年） 藤井敦大（1年）
23	徳山高専	<b>翼棟</b> ○新田結（4年） 浅田穂乃果（専攻科2年） 石井来実（5年） 福島鈴葉（4年） 下園紗羽（2年） 今田和基（1年）
24	モンゴル科技大高専	<b>山</b> ○アルタンズル アリウンバト（4年） バヤルスフ オルチロン（4年） オトゴンチュルーン アリウンウヤンガ（5年） ザギラー エンフジン（2年） イジルモロン ソルジャルガル（4年） バトジャルガル オチルフヤグ（2年）
25	群馬高専	<b>BeReal-GUNMA</b> ○小林光希（4年） 宮田一穂（4年） 田口達人（4年） 小林志門（4年） 今井和空（2年） 宮田燈一郎（2年）
26	長野高専	<b>A Tension Please!</b> ○PHONE MYAT KYAW（5年） 片山志穂（5年） 師田結衣（3年） 小林歩夢（4年） 小関すず（3年）
27	長野高専	<b>Trussty</b> ○小林虎ノ介（5年） 牧晃大（5年） OR SEREY ROTHANAK（4年） 小畠歩之（4年） 安田茉央（3年）
28	米子高専	<b>驚電</b> ○小澤航輝（4年） 古藤向菜花（4年） 小島菜緒（4年） 植松桜子（4年） 近田光希（4年） 田中すすな（4年）

デザコン2023 構造デザイン部門 エントリー一覧

作品番号	学校名	作品名・氏名・学年（○は代表学生）
29	モンゴル科技大高専	<b>ゲル</b> ○シジルバートル ビルグーテイ（4年） シャグダルスレン エルデネホロル（4年） ネルグイ ガン-エルデネ（4年） バト-オチル アリウンツツガラグ（5年） エンプバヤル エンフツール（2年） ツェデンダムバ プレブボルド（5年）
30	釧路高専	<b>トラベーズ</b> ○中川真緒（4年） 武田紗奈（4年） 狩野由奈（4年） 山崎至恩（4年） 惣宇利瑠珂（4年）
31	小山高専	<b>ダ・ブリッジ</b> ○畑中優志（3年） 松坂奏美（3年） 佐藤優（2年） 齊藤睦（2年） 内藤毅（1年）
32	小山高専	<b>太平山</b> ○齋藤さくら（3年） 西松花歩（3年） 鈴木愛佳（3年） 森山修次（1年） 田村海都（1年）
33	仙台高専・名取キャンパス	<b>磐橋</b> ○畠山幸大（5年） 平山航太（5年） 阿部煌生（3年） 植村祥太（3年） 須貝力（3年） 三浦匠悟（3年）
34	近畿大学高専	<b>Bifrost</b> ○岡西陽汰（5年） 青木優真（5年） 上園嵩人（5年） 笠井康佑（5年）
35	都城高専	<b>黄昏</b> ○宗像大樹（専攻科2年） 谷口陽菜（専攻科2年） 宇野木瑠那（専攻科2年） 岩切大昌（5年）
36	近畿大学高専	<b>Everest</b> ○村雲資龍（5年） 奥村竜矢（5年） 富成一輝（5年） 藤川誠ノ介（5年）
37	石川高専	<b>ちいやま</b> ○中山美月（4年） 小山慶達（4年） 長島子龍（4年） 二口瑠夏（4年）
38	神戸市立高専	<b>カキ</b> ○津川桂海羽（3年） 伊達祐葵（2年） 橋本紗羅（2年） 下田莉土（2年） 麻田銀河（2年）
39	有明高専	<b>三位一体</b> ○田原慎太郎（専攻科2年） 泉裕介（専攻科1年） 前田梨湖（5年） 溝田嵩弥（5年） 福澤寧々（4年） 宮崎悠人（4年）
40	苫小牧高専	<b>たすき</b> ○中嶋一心（4年） 有坂優宏（4年） 大沢穂香（4年） 貫尾美羽（4年） 佐藤泰樹（3年） 濱田理央（2年）
41	有明高専	<b>一部と全部</b> ○田中美咲（5年） 赤木優羽（専攻科2年） 岩屋昂士朗（専攻科1年） 篠原京佑（5年） 渡辺悠大（5年） 小松真菜（3年）
42	香川高専・高松キャンパス	<b>夢限橋</b> ○高橋大樹（3年） 富田慧太（3年） 土井大和（3年） 岡田幸士朗（3年）
44	香川高専・高松キャンパス	<b>One for all</b> ○岩田侑真（3年） 山本陽紀（3年） 阿河拓弥（3年） 秋澤弘大（3年） 石原陽斗（1年）
45	呉高専	<b>嶺瀧</b> ○手冢淳平（専攻科1年） 藤原福人（1年） 吉川諒哉（2年） 重高雅道（3年） 桑原帆乃未（3年） 森川愛生（4年）
46	明石高専	<b>輪</b> ○堀田樹生（3年） 倉松央（3年） 塩見耕平（3年） 長澤亜依（3年） 三原万拓（3年） 村上拓夢（3年）
47	呉高専	<b>金剛石</b> ○中川皓晴（3年） 百相里花（1年） 小櫻果（3年） タンプンリム（3年） 畑岡咲良（4年） 濱原萌花（4年）
48	新モンゴル高専	<b>雷雲</b> ○イスヘ ウランジャラガル（5年） エンプバヤル テムーレン（5年） エルデネバト ビルグーテイ（5年） エンフトル フレルシャガイ（5年） エンフテツグシン ムンフエルデネ（5年） ニヤムバト ナランバト（5年）
49	米子高専	<b>鳳蝶</b> ○浦林丈人（4年） 瀬戸口健人（4年） 池田真之介（4年） 梅林蒼（4年） 濱崎大志（4年） 谷野彼方（4年）
50	新モンゴル高専	<b>キノノバ</b> ○ラハガワオチル アミンエレデネ（4年） ガンソリグバトヒシグ（4年） フレウェバト ミシェール（4年） パラスバートル オユー（4年） ギーヘナラン ポール（4年） トゥメンバヤル テンギス（4年）
51	阿南高専	<b>徳島ラーメン橋</b> ○中郷拓真（4年） 西尾瞭汰（4年） 高澤優颯（4年） 浦大輝（4年） 竹村慎平（4年） 山室遥暉（4年）
52	秋田高専	<b>市松橋</b> ○三国屋颯波（3年） 菅原琉惺（2年） 中道美菜凜（1年） 夏井柚紀（1年） 今野友翔（1年）
53	秋田高専	<b>tri'pull</b> ○小林種子（3年） 小笠原悠太郎（2年） 松渕菜利（2年） 池田唯音（1年） 畠山陽向（1年）
54	岐阜高専	<b>橋。〜ココ〜ホウコ（宝庫・蜂庫）</b> ○鳥居大和（専攻科1年） 新福颯太（専攻科1年） 長谷川滉駿（専攻科1年） 本田康成（専攻科1年） 宮本岬（専攻科1年） 山田武輝（専攻科1年）
55	岐阜高専	<b>マトリョシ架</b> ○南波典季（専攻科1年） 岡部誠也（専攻科1年） 長田知紘（専攻科1年） 長谷川侑星（専攻科1年） 武藤有次郎（専攻科1年） 森川満生（専攻科1年）

※作品番号43は欠番

# 全国高専デザコン 2023 in 舞鶴 構造デザイン部門 本選出場要項

## 1. 本選について

### (1) 開催日

11月11日(土)、11月12日(日)

### (2) 参加方法

対面形式で開催する。大会参加者は、各チーム6名以内とする。なお、同一高専で2つの作品(2チーム)を応募する場合も同様である。

### (3) 本選日程

11月10日(土)

9:30 開場・受付開始・作品展示

10:00 ~ 11:30 仕様確認(オンライン配信なし)

準備状況により、10:00よりも前に仕様確認を行う可能性がある。

10:00 ~ 11:30 審査員による作品審査(評価項目「審査員からの質疑応答」)

審査員が作品を見て回り、1チーム1分程度の質疑応答を行う。各チーム1名が作品の前で待機すること。なお、プレゼンテーションを行う訳ではない点に注意すること。また、仕様確認と時間が重なるが、仕様確認中の作品への配慮は行うこととする。

12:30 ~ 13:00 開会式

13:30 ~ 14:00 オリエンテーション(載荷試験)

載荷試験のルール of 最終確認を行うので全チームが参加すること。

14:00 ~ 16:30 載荷試験(オンライン配信あり)

16:30 ~ 17:00 技術交流(オンライン配信あり)

初日の上位作品等のいくつかの作品に作品の工夫点をインタビューしたいと思います。

その後、時間の許す範囲で各高専の作品を見ながら交流をしてもらえればと思っています。

11月12日(日)

9:00 ~ 12:00 載荷試験(オンライン配信あり)

12:00 ~ 12:30 結果発表・審査員による作品講評(オンライン配信あり)

14:00 ~ 15:00 閉会式



## 2. 審査

### (1) 審査方法

- ① 競技得点      競技得点 = (静的載荷得点 40 点 + 衝撃載荷得点 10 点 + 軽量点 20 点)  
                          × 設置時間係数(1.0、遅延 0.9)  
                          × 部材数係数(部材数 2: 1.0、3: 1.1、4: 1.2)  
                          = 84 点満点
- ② 審査員評価点      審査員評価点 = 「作品の構造的合理性」9 点 + 「作品の独自性」9 点  
                                  + 「プレゼンテーションポスターの出来栄え」9 点  
                                  + 「審査員からの質疑応答」3 点  
                                  = 30 点満点

上記、①および②の合計点より得点順位を得る。なお、同点の場合は、軽量点が高い方を上位とする。

### (2) 審査委員

- 委員長：岩崎英治（長岡技術科学大学 教授）  
 委員：中澤祥二（豊橋技術科学大学 教授）  
 委員：小島 優（国土交通省 近畿地方整備局 企画部 部長）

### (3) 競技方法

※競技の流れを「補足資料」から動画で確認できるので準備に活用してください。

#### ① 作品の展示

会場には各チームに橋梁を展示する机、プレゼンテーションポスターを掲示するパネルが用意されている。以下の要領で展示を行うこと。

- ・ 「審査員による作品審査」までには展示を完了すること。
- ・ パネルにはあらかじめ、作品番号、学校名、作品名が書かれた紙が置かれているので、その位置で展示をすること。
- ・ 机、パネルには 1 チーム分の区画（幅 1200mm）を表す表示がされているので、範囲を守って展示すること。
- ・ 机の上に橋梁を展示する際、置き方は自由とする。ちなみに、支点となる物は主催者側では用意しないので必要に応じて各チームで準備すること。
- ・ パネルへのプレゼンテーションポスターの掲示には画鋏、テープの使用が可能である。ただし、**貼り付けに用いる物は主催者側では用意しないので各チームで準備すること。**
- ・ 展示会場は非常に狭い箇所がある。各チームの荷物などは机の下に入れて通路を確保すること。

#### ② 仕様確認（オンライン配信なし）

仕様確認では、橋梁（作品）の質量および長さの計測のほか、以下の項目について検査を行う。

- ・ 橋梁を組み立てる前の部材数。ならびに部材の継手部分および重なりが、「継手の重複可能部分」（募集要項参照）に収まっているか確認する。
- ・ 組み立てられた橋梁が、「製作限界内」（募集要項参照）に収まっているか、製作限界確認用木製ケース内に橋梁が収まっていること確認する。
- ・ 載荷治具を置くズレ止め機構が橋梁内に入る深さが 11mm 以内であることを確認する。
- ・ 使用材料が規定と相違はないか。

## ③ 橋梁の質量計測

大会当日の計量には最小質量表示が0.1gの秤を使用する。

## ④ オフィシャルブック用の写真撮影

オフィシャルブックに掲載する橋梁単体の写真を撮影する。

**※②～④については、代表学生1名の立ち会いの下、実施する。**

**※②～④はエントリー順（プログラムの「作品番号」順）に実施する。仕様確認場所に並んで待機すること。**

## ⑤ 審査員による作品審査

- ・ 評価項目「作品の構造的合理性」、「作品の独自性」、「プレゼンテーションポスターの出来栄え」については、事前に提出されたプレゼンテーションポスターおよび大会当日の展示作品の巡回により審査する。
- ・ 評価項目「審査員からの質疑応答」については、大会当日の展示橋梁の巡回の際に審査員が行う質疑に対する回答により評価する。したがって、**審査員の巡回時には各チーム1名が作品の前で待機すること。**なお、チームメンバーがプレゼンテーションを行う訳ではない点に注意すること。質疑応答の時間は各チーム1分程度とする。

## ⑥ セッティング荷重

載荷治具、スプリングフック、載荷ワイヤー、おもり受け等の総質量約8kgがセッティング荷重として作用するが、このセッティング荷重は耐荷荷重には含めないものとする。

## ⑦ 耐荷性能試験

**載荷試験では、各チーム3名以内の学生が登壇し、作品の設置および載荷を行う。**登壇者は、ヘルメット、ゴーグル、手袋、安全靴を着用し、長袖、長ズボンの服装（安全装備）であることとする。なお、ヘルメット、ゴーグルについては、主催者側で用意するが、手袋、安全靴は各高専で準備すること。

**載荷試験終了後（作品の入れ替えの時間）に、登壇者に一言だけコメントをいただく予定です。**

以下、(a)～(d)に載荷性能試験の詳細を示す。

## (a) 載荷順

競技は、3台の載荷装置を用い、3チーム1グループとし同時に載荷試験を実施する。載荷順については、事前提出された仕様確認表を参考に原則として質量の重い順として主催者側で決定する。載荷順は会場内掲示等で公開する。なお、同一高専で2作品を応募した高専については、2作品のうち質量の重い橋を1日目に載荷試験する予定である。

## (b) 登壇と競技の開始

- ・ 登壇するステージ裏には待機場所がある。自グループの番の2つ前には待機場所に集合すること。
- ・ 橋梁は部材に分割し、主催者側で用意するふた付きのプラスチックケース（内寸：幅 354×奥行 609×高さ 300mm）に格納した上で登壇する。
- ・ 登壇者は、上記の安全装備、橋梁の入ったプラスチックケースの他に載荷装置への設置のための踏み台や定規等の持ち込みを可とする。ただし、過度に大型な機器材や募集要項の記載内容に反する機器材、工具の持ち込みは認めない。
- ・ 各チーム登壇後、司会者の「競技開始」の合図で競技を開始する。**「競技開始」の合図以降、以下の「(c) 載荷装置への設置」、「(d) 静的荷重の載荷」、「(e) 衝撃荷重の載荷」までを連続して実施する。**

## (c) 載荷装置への設置

載荷装置への設置とは、以下の作業を完了することである。

- ・ 複数の部材をプラスチックケースから取り出し、接合し 1 つの橋梁とする。空のプラスチックケースは、作品名が書かれている面を客席に向けて床に置く。
- ・ 載荷治具を橋梁へ設置する。
- ・ 橋梁を載荷台へ設置する。
- ・ 載荷治具の吊りピースと載荷ワイヤーとを結合し、おもり受けを防振マットから 50～100mm の範囲で浮かせる。この時点で橋梁が支点と接することができるのは、山形鋼頭頂部のみとする。

載荷装置への設置は、「競技開始」の合図から 90 秒以内に行い、完了した時点で、手を挙げて競技審判に設置完了を知らせること。合図から 90 秒を超過して設置が完了した場合は、載荷による得点に 0.9 を乗じた値が競技得点となる。設置完了後、競技審判が「支持条件」および「載荷条件」を満足しているかを 10 秒程度で確認する。

#### (d) 静的荷重の載荷

初期荷重は 10kg とし、40kg まで 10kg 刻みで静的荷重を載荷する。各載荷段階において、載荷後 10 秒間の耐荷状態の確認を競技審判が行った後、次の載荷を行う。なお、耐荷状態とは、おもり受けが防振マットに接していない状態のことである。橋梁が以下の項目に一つでも当てはまる状態になった場合、「崩壊」しているとみなして競技を終了する。

- ・ おもり受けが防振マットに接した場合（橋梁に破断が生じていなくても「崩壊」しているものとみなす）。
- ・ ズレ止め機構の載荷治具 Sa 点および Sb 点の丸鋼が載荷試験中に橋梁内に 11mm を超えて入った場合。
- ・ 支点 Ra もしくは支点 **Rb** の山形鋼以外の部品へ橋梁が接触した場合。

また、各おもりの載荷後（耐荷状態の確認中）の動きについては、安全のために以下の通りとする。

- ・ 載荷する者は、載荷後は速やかに防振マットの上から出ること。耐荷状態の確認中も防振マットとその上空の範囲へは身体を入れないこと。
- ・ 次のおもり持って待機するなどの準備は可能だが、その場合も防振マットとその上空の範囲へは身体を入れないこと。
- ・ 載荷台の近くには載荷荷重の大きさを表示する「めくり」が置かれている。載荷前後にはそのめくりをめくり、その時点の載荷荷重を客席に示すこと。

#### (e) 衝撃荷重の載荷

静的荷重 40kg に対して耐荷したことを確認でき次第、衝撃荷重の載荷を行う。

支点 Rb の上段と下段の鋼板の間にあるナット 4 個にはそれぞれ紐が通されており、それを引張ることでナットを取り除き支点部上段を落下させる。その時、ナットに通された紐以外に触れることはできない。ナット 4 個が確実に除去された時点から 10 秒間の耐荷状態（「(d) 静的荷重の載荷」記載と同様の状態）が確認できれば衝撃荷重に対して耐荷したこととする。なお、ナットの除去においては、**静的荷重 40kg の耐荷状態確認（載荷から 10 秒経過）以降に紐を持つこととし、紐を持ちながら耐荷状態を待つことは認めない。また、一度に除去する個数や順序は指定しない。**加えて、ナット 4 個を除去した時にガイドボルトに支点部上段の鋼板に設けた孔がボルトに引掛かり、支点部上段が斜めになった場合でも、ナット 4 個が除去されていれば耐荷状態の確認を行う。

#### (f) 競技得点

競技得点は、以下の式で算出する。

$$\begin{aligned} \text{競技得点} &= (\text{静的載荷得点 } 40 \text{ 点} + \text{衝撃載荷得点 } 10 \text{ 点} + \text{軽量点 } 20 \text{ 点}) \\ &\quad \times \text{設置時間係数}(1.0、\text{遅延 } 0.9) \\ &\quad \times \text{部材数係数}(\text{部材数 } 2: 1.0、3: 1.1、4: 1.2) \end{aligned}$$

= 84 点満点

ここで、

- ・ 静的載荷得点：耐荷荷重の kg 数を点数とする（満点 40 点）。
- ・ 衝撃載荷得点：10 点
- ・ 軽量点：満点 20 点とし、軽量順で 1 位のチームに 20 点を与える。2 位以降については、1 位のチームの質量をチームの質量で除して、それに 20 点を掛けた点数を与える。（例えば、1 位のチームの質量が A、2 位のチームの質量が B である場合、 $(A/B) \times 20$  で計算した値を 2 位のチームの点数とする。3 位以下も同様の計算を行って点数を決める。）なお、作品を載荷装置にセットし、かつ、吊りピースと載荷ワイヤーの結合までを行い、「(d) 静的荷重の載荷」に入る前に耐荷状態でなくなった場合は軽量点の対象としない。
- ・ 設置時間係数：(b) 載荷装置への設置において 90 秒以内に設置が完了した場合、1.0 とし、設置が完了しなかった場合、0.9 とする。
- ・ 部材数係数：橋梁を分割した部材数が、2 の場合：1.0、3 の場合：1.1、4 の場合：1.2、とする。

### 3. 本選までのスケジュール

本選に向けて、以下のスケジュールで、(1)エントリー手続き、(2)集合写真・製作風景の写真データの提出、(3)プレゼンテーションポスターデータの提出、(4)参加費の納入、(5)応募作品・プレゼンポスター・写真データの配送もしくは持参すること。

#### (1) エントリー手続き

- ① 受付期間：2023 年 9 月 25 日（月）～10 月 2 日（月）17:00
- ② 応募方法：デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページの構造デザイン部門の「エントリー」から行う（Google アカウント必要）。
- ③ 項目記入上の注意：
 

記入する項目は、・学校名 ・作品名（仮称でも構わないが同一高専で異なる名称とする） ・チーム学生ならびに指導教員に関する情報 である。

エントリーフォームには、システムの都合上、「4. 作品概要 作品概要を 400 字以内で簡潔に表現して下さい。」とあるが、本エントリー手続きにおいては提出を求めない（後述の「(3) プレゼンテーションポスターデータ等の事前提出」時に合わせて提出）。しかし、フォームには何らかの文字を入力しなければならない仕様となっている。そこで、仮に学校名を入力すること（「舞鶴高専」など）。

また、「43. ファイルのアップロード」についてもここではファイルのアップロードを求めないので、ファイルのアップロードは不要である（作業風景の写真、チームの集合写真をプレゼンテーションポスターの事前提出時に合わせて提出してもらう予定）。
- ④ 受領確認：エントリーの受付確認に関しては、エントリーで入力された代表者および指導教員のメールアドレスへ内容受付のメールを自動配信する。**メールアドレスについては入力ミスがないように十分確認すること。**
- ⑤ エントリーリストの公開：
 

2023 年 10 月 10 日（火）以降にデザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページ上にリストを公開する。エントリーしたチームはエントリーリストを必ず確認し、エントリー受付漏れがあった場合は 2023 年 10 月 16 日（月）17:00 までに下記メールアドレスに連絡すること。2023 年 10 月 16 日（月）17:00 以

降のエントリー訂正等は受け付けないので注意する。なお、エントリーの確認をもって、「全国高等専門学校デザインコンペティション 2023 in 舞鶴 構造デザイン部門」への出場権を得たものとする。

舞鶴工業高等専門学校 構造デザイン部門事務局 e-mail ; dc-23kozyo@maizuru-ct.ac.jp

## (2) 集合写真・製作風景の写真データの提出

本選前にチームメンバーの集合写真(2MB 程度)および作業中の様子を撮影していただき、写真データをご提供ください。これらの写真はオフィシャルブックに掲載されます。写真データは、「(3) プレゼンテーションポスターデータ等の事前提出」時にアップロードするに加えて、お手数ですが、**データを CD-R or DVD-R に保存して頂き、大会期間中に引率教員の先生は、受付に記録メディアをお渡しください。**(事前提出のバックアップとさせていただきます。)

- ・ 枚数は指定しません。
- ・ ピースサインはお控えください。

## (3) プレゼンテーションポスターデータ等の事前提出

プレゼンテーションポスターには、学校名、作品名、コンセプト、橋梁の写真、アピールポイントを記載すること。

- ① 提出期間：2023年10月30日(月)～11月6日(月)17:00
- ② 提出方法：下記 URL へアクセスして必要事項を入力し、下記4点をアップロードすること。

アップロードフォームの URL : <https://forms.gle/kjboK5jWKXdD9sAP9>

### 1. プレゼンテーションポスターPDF データ

ファイル形式：PDF (.pdf) データサイズ：10MB 未満

サイズ等 : A2 サイズ横書き

ファイル名：高専名・キャンパス名\_代表者学生氏名(「高専」「キャンパス」の文字は除く。)

例) 仙台・名取\_青葉一郎.pdf

例) 舞鶴・高専太郎.pdf

※以下のファイルアップロードも同様のファイル名とする。複数ファイルがある場合はファイル名の最後に数字を入力すること。

### 2. 仕様確認表

以下から仕様確認エクセルファイルをダウンロードし必要事項を記入、エクセルファイルのままアップロードすること。

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1pzVgIptpive2paQLQi9NYdQ-W8hSi9vJ/>

### 3. 集合写真

上記(2)「集合写真・製作風景の写真データの提出」と同じファイルとする。

### 4. 作業中の写真

上記(2)「集合写真・製作風景の写真データの提出」と同じファイルとする。

## (4) 参加費

- ・ 参加費は、1チーム当たり8,000円とする。
- ・ 参加費は、2023年10月10日(火)までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 振り込み者名は、「高専名の略称、空白、担当者名」とすること。

例) マイヅル 23 コウセンタロウ

- ・ 振り込まれた参加費ついて、いかなる場合においても返金には応じない。

**【振込口座】**

銀行名：ゆうちょ銀行
店名：四四八（読み：ヨンヨンハチ）
店番：448
口座種別：普通預金
口座番号：5361124
口座名義：全国高等専門学校デザインコンペティション ゼンコクコウトウセンモンガッコウデザインコンペティション

#### 4. 作品の送付

作品は、原則大会当日に持参することとするが、宅配を希望する場合は末尾の「作品の送付について」記載の内容に従い送付すること。

#### 5. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載また Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには応募作品とともに参加者、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。

#### 6. 付記

- (1) プレゼンテーションポスターの作成にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現にすること。
- (2) 応募作品の取り扱いにおいて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。また、輸送時の損傷についても主催者は一切責任を持たない。
- (3) 応募要項に違反した場合は失格となる場合がある。

○本要項に変更があった場合は、随時ホームページで連絡または本選オリエンテーション時に説明します。

#### 7. 問い合わせ先

舞鶴工業高等専門学校 構造デザイン部門事務局 e-mail ; dc-23koko@maizuru-ct.ac.jp

事務的な質問のみ受け付けます。課題内容の質疑は受け付けません。

## 構造デザイン部門 本選出場要項 補足資料

### -競技の流れ-

ここでは、載荷試験の競技の流れについて動画を用いて補足説明をします。参考にしてください。

ただし、ここで示す動画は、本選出場要項発表時点での要領を示すものです。本要項に変更があった場合は、随時ホームページで連絡または本選オリエンテーション時に説明します。また、使用している橋梁は募集要項の内容を満足するものではないことに注意してください。

#### ○載荷試験競技の流れ

以下の QR コードからデザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページにアップしてある動画を確認してください。



動画 1 載荷試験デモ

URL

## 作品の送付について

作品を送付する場合、以下に従って送付して下さい。

- 送付業者：指定はありません。
- 時間指定：11月10日（金）14時～16時
- 送付先：舞鶴市総合文化会館  
〒625-0036 京都府舞鶴市字浜 2021 番地  
TEL：0773-64-0880
- 注意：必ず時間指定で送付してください。着払いでの送付はご遠慮願います。  
外形3辺合計140cm以内の箱に入れて下さい。  
輸送時の損傷について、大会事務局は一切責任を持ちません。

送付にあたっては、以下に記入の上、梱包物の外側のわかりやすい場所に貼付して下さい。

----- キリトリ -----

### デザコン 2023 in 舞鶴

部門名： 構造デザイン 部門

学校名： 高専

(キャンパス名： )



デザコン2023 in 舞鶴 構造デザイン部門 結果一覧

得点 順位	作品 番号	高専名	作品名	質量 (g)	部材数	仕様 確認	審査員 評価点 (30点)	競技得点					合計得点 (114点)	受賞
								部材数 係数	設置時間 係数	軽量点 (20点)	載荷得点 (50点)	合計 (84点)		
1	28	米子高専	驚霧	176.1	4	○	27.33	1.2	1.0	19.466	50	83.36	110.7	最優秀賞 (国土交通大臣賞)
2	20	舞鶴高専	押しの狐	171.4	4	○	27.67	1.2	1.0	20.000	40	72.00	99.7	日刊建設工業新聞社賞
3	15	苫小牧高専	連理の枝	180.9	4	○	27.67	1.2	1.0	18.950	40	70.74	98.4	
4	21	舞鶴高専	白銀の応力	275.7	3	○	28.00	1.1	1.0	12.434	50	68.68	96.7	優秀賞 (日本建設業連合会会長賞)
5	22	徳山高専	繫弓	233.2	4	○	27.33	1.2	1.0	14.700	40	65.64	93.0	
6	23	徳山高専	翼株	289.9	4	○	25.33	1.2	0.9	11.825	50	66.77	92.1	優秀賞
7	3	鹿児島高専	桜島BridgeIII	304.1	3	○	23.00	1.1	1.0	11.273	50	67.40	90.4	
8	41	有明高専	一部と全部	454.7	3	○	25.00	1.1	0.9	7.539	50	56.96	82.0	審査員特別賞
9	14	福島高専	ふぁみりい	807.9	3	○	24.67	1.1	0.9	4.243	50	53.70	78.4	審査員特別賞
10	37	石川高専	ちいやま	834.6	3	○	18.67	1.1	1.0	4.107	50	59.52	78.2	
11	54	岐阜高専	橋。～C+コ～ホウコ (宝庫・蜂庫)	1014.0	3	○	19.00	1.1	1.0	3.381	50	58.72	77.7	
12	26	長野高専	A Tension Please!	326.7	4	○	22.67	1.2	0.9	10.493	40	54.53	77.2	
13	1	福井高専	金剛	444.3	3	○	22.00	1.1	1.0	7.716	40	52.49	74.5	
14	8	津山高専	GOnGO-bashi	485.9	4	○	23.33	1.2	0.9	7.055	40	50.82	74.2	
15	18	明石高専	水ノ山	359.1	4	○	23.33	1.2	1.0	9.546	30	47.46	70.8	
16	19	石川高専	略略鎌	849.7	2	○	21.33	1.0	0.9	4.034	50	48.63	70.0	
17	2	福井高専	雅	511.5	3	○	23.67	1.1	0.9	6.702	40	46.23	69.9	
18	39	有明高専	三位一体	439.8	3	○	22.00	1.1	0.9	7.794	40	47.32	69.3	
19	33	仙台高専・名取キャンパス	穹橋	291.0	3	○	22.67	1.1	1.0	11.780	30	45.96	68.6	
20	52	秋田高専	市松橋	393.5	4	○	23.33	1.2	0.9	8.712	30	41.81	65.1	
21	49	米子高専	鳳蝶	268.1	4	○	25.33	1.2	1.0	12.786	20	39.34	64.7	
22	48	新モンゴル高専	雷雲	201.0	4	○	22.00	1.2	0.9	17.055	20	40.02	62.0	
23	24	モンゴル科技大高専	ウール (山)	222.3	4	○	21.33	1.2	0.9	15.421	20	38.25	59.6	
24	16	IETモンゴル高専	ささえあい	249.7	3	○	23.00	1.1	0.9	13.728	20	33.39	56.4	
25	35	都城高専	黄昏	325.7	4	○	23.33	1.2	0.9	10.525	20	32.97	56.3	
26	29	モンゴル科技大高専	ゲル (家)	312.7	4	○	21.67	1.2	0.9	10.963	20	33.44	55.1	
27	27	長野高専	Trussty	359.8	3	○	22.33	1.1	1.0	9.528	20	32.48	54.8	
28	50	新モンゴル高専	キロノバ	216.3	4	○	22.67	1.2	1.0	15.848	10	31.02	53.7	
29	46	明石高専	輪	468.7	4	○	23.33	1.2	0.9	7.314	20	29.50	52.8	
30	17	IETモンゴル高専	Fusions	190.3	3	○	23.00	1.1	0.9	18.014	10	27.73	50.7	
31	34	近畿大学高専	Bifrost	287.1	4	○	22.00	1.2	1.0	11.940	10	26.33	48.3	
32	36	近畿大学高専	Everest	322.2	4	○	21.67	1.2	0.9	10.639	10	22.29	44.0	
33	45	呉高専	礫礫	254.8	4	○	25.00	1.2	1.0	13.454	0	16.14	41.1	
34	40	苫小牧高専	たすき	243.3	4	○	23.67	1.2	1.0	14.090	0	16.91	40.6	
35	47	呉高専	金剛石	409.3	3	○	21.67	1.1	0.9	8.375	10	18.19	39.9	
36	11	松江高専	Secundus Pons	290.6	4	○	22.00	1.2	1.0	11.796	0	14.16	36.2	
37	51	阿南高専	徳島ラーメン橋	818.5	2	○	22.00	1.0	0.9	4.188	10	12.77	34.8	
38	25	群馬高専	BeReal-GUNMA	330.8	3	○	21.67	1.1	1.0	10.363	0	11.40	33.1	
39	30	釧路高専	トラベーズ	1254.3	4	○	16.33	1.2	0.9	2.733	10	13.75	30.1	
40	53	秋田高専	tri"pull"	442.1	4	○	20.33	1.2	0.9	7.754	0	8.37	28.7	
41	7	豊田高専	軸力しか勝たん橋	845.3	2	○	15.33	1.0	0.9	4.055	10	12.65	28.0	
42	12	鶴岡高専	福虹	756.4	3	○	20.00	1.1	1.0	4.532	0	4.99	25.0	
43	4	群馬高専	阿咩～A・UN～	369.6	4	○	22.33	1.2	0.9	0.000	0	0.00	22.3	
43	5	高知高専	らんまん	246.7	2	○	22.33	1.0	0.9	0.000	0	0.00	22.3	
43	31	小山高専	ダ・ブリッジ	339.7	4	○	22.33	1.2	0.9	0.000	0	0.00	22.3	
46	9	大阪公立大学高専	ページターの肩	640.9	2	○	16.67	1.0	0.9	5.349	0	4.81	21.5	
47	13	鶴岡高専	Tsurupezoid	541.0	2	○	20.67	1.0	0.9	0.000	0	0.00	20.7	
47	55	岐阜高専	マトリョシ架	1183.5	3	○	20.67	1.1	0.9	0.000	0	0.00	20.7	
49	6	和歌山高専	ハンノディクタス	812.9	2	○	20.33	1.0	0.9	0.000	0	0.00	20.3	
50	32	小山高専	太平山	301.9	3	○	20.00	1.1	0.9	0.000	0	0.00	20.0	
51	10	釧路高専	三稜橋	540.0	4	○	19.67	1.2	0.9	0.000	0	0.00	19.7	
52	38	神戸市立高専	力士	580.1	4	○	19.33	1.2	0.9	0.000	0	0.00	19.3	
52	42	香川高専・高松キャンパス	夢限橋	254.0	4	○	19.33	1.2	0.9	0.000	0	0.00	19.3	
54	44	香川高専・高松キャンパス	One for all	522.7	4	○	19.00	1.2	0.9	0.000	0	0.00	19.0	

注)

- は載荷の全過程を成功した作品を示す (9作品)。
- 「最優秀賞」、「優秀賞」(2点)、「審査員特別賞」(2点)は、載荷全過程を成功した作品の中から選定する。

## 第 20 回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2023 in 舞鶴

### 「session -新しい協働の形-」

#### 空間デザイン部門 募集要項

#### 【テーマ：住まいのセッション】

【課題概要】 人の生き方が変われば、住まい方も変わる。戦後、核家族が増えた。現在では、さらに多様な生き方がある。単身者、DINKs、シングルマザー & ファザー家庭、外国人労働者、同性婚、ノマドなど…多様な世帯があり、それぞれ充実した生き方である。しかし、それぞれの世帯が孤立しては、病、貧しさ、老い、災害といった問題に直面した時に困難に陥ることもあるだろう。

そこで今一度、集まって住む可能性を考えてほしい。人類誕生以来、人は集団化することで生きてきた。その集団化の方法は、血統による繋がり、身分差を受容した上での擬似的家族モデル、宗教や主義信条を共にするもの同士のユートピアなど、様々であった。そして現代には、現代だからこそ実現可能な、個人や世帯の個性と自由と平等とを尊重しながら人々が再結合する方法があるのではないだろうか。

今回の課題では、集まって生きるための住まいを提案してほしい。これまでにない、新たな関係性によって共に住まう形を考えてもらうため、条件を「20 人の住まい」とする。社会の状況における現在と未来を見定め、多様な人々が相互に関係あう生き方を提案してほしい。そしてその生き方を、空間における何らかの要素同士のセッションを通して、住まいの空間デザインとして表現することを求める。

### 1. 設計条件

- ① 用途は 20 人程度が居住可能な住宅とする。
- ② 世帯数、世帯内の構成（年齢、性別、その他）など居住者の設定を示すこと。
- ③ 計画の対象とする敷地は、あらゆる地域を自由に想定してよいが、日本国内とする。

### 2. 競技方法

空間デザイン部門は、予選と本選に分けて実施する。

#### (1) 予選

- ① 提案内容をプレゼンテーションポスター(A1 サイズ(横向き)1 枚)にまとめ、期日までに印刷物を所定の宛先に郵送し提出すると同時に、データも所定の方法で提出する。なお、印刷物はパネル化せずに送ること。
- ② 応募されたプレゼンテーションポスターに対して審査員が審査を行う。10 点を選出し、本選出場者を決定する。
- ③ 審査結果は 9 月中旬にホームページに掲載するとともに、予選通過チームの代表学生と指導教員に対しては、予選通過を e-mail によって連絡する際に、審査員からのコメントを伝える。コメントをもとに、本選へ向けて案をブラッシュアップすること。

#### (2) 本選

本選では、次のプレゼンテーションに基づいて審査委員による評価を行う。

- ① ポスターセッション：ポスター(A1 サイズ(横向き)最大 2 枚:予選で提出したポスターの他に、追加あるいは差し替えることは可)、模型等を用いたプレゼンテーションおよび審査員による質疑を行う。
- ② オーラルセッション：スライドショー、模型(CCD カメラまたはビデオカメラ)を用いたオーラルプレゼンテーションとする。プレゼンテーションスペースは各チーム幅 1,800mm 奥行き 900mm 高さ 2,000mm の空間とし、ポスターおよび模型等を用いたプレゼンテーションを行うこととする。なお、プレゼンテーションの時間や方法、ポスター・模型等を

展示する衝立やテーブルなど、主催者が用意する備品やプレゼンテーション環境等に関する情報は、予選審査終了後、デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページ(<https://デザコン.com/>)にて公開する「本選出場要項」にその詳細を示す。

### (3) 審査ポイント

以下の項目を重点的に評価する。

- ① 提案の創造性
- ② デザインの総合性
- ③ プレゼンテーション力

## 3. 応募方法等

空間デザイン部門では、応募ポスターの郵送に加え、応募ポスターの画像データファイルのアップロード(Web)による提出を求める。Web による手続きを利用するためには、Google アカウントが必要となる。

### (1) 質疑応答

募集要項の内容(課題内容、設計条件)に関する質疑応答は行わない。ただし、日程および提出方法などの事務的な質疑については、下記の期間・方法にて受け付ける。

- ① 受付期間： 2023年4月24日(月)から5月8日(月)17:00まで
- ② 質問方法： デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページの空間デザイン部門の「質疑受付」から行う(Google アカウント必要)。
- ③ 回答公開： 5月中旬から5月下旬に、デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページの空間デザイン部門の「質疑応答」にて、回答の内容を公開する。

### (2) 予選エントリー時の提出物

- ① 応募ポスターの現物、およびデータ
  - ・ 応募ポスターは、A1 サイズ(横向き)1枚とする。
  - ・ プレゼンテーションポスターの内容には、設計趣旨、配置図、平面図、立面図、断面図、透視図(CG、模型写真含む)、イラスト等を適宜選択し、表現すること。
  - ・ 応募ポスターには、応募者の氏名・所属が判別できるような情報を記入しないこと。
  - ・ 設計趣旨等の文章表現について、主たる言語は日本語とすること。
  - ・ 画像データのファイル形式は、PDF(.pdf)とし、データサイズは 100MB 以下とする。
  - ・ ファイル名は、[高専名(・キャンパス名)\_代表者学生氏名]([「高専」「キャンパス」の文字は除く。])とする。  
例) 舞鶴\_高専太郎.pdf または 仙台・名取\_仙台太郎.pdf

### (3) 予選エントリー手続き

- ① 受付期間： 2023年8月1日(火)から8月21日(月)17:00まで
- ② 応募方法：
  - (1) ポスターの郵送について：上記期間に所定の宛先に必着させること。  
表面に「デザコン空間部門ポスター」と朱書きすること。  
提出先：舞鶴工業高等専門学校 学生支援係  
提出住所：〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地
  - (2) データの提出について：デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページの空間デザイン部門の「エントリー」から行う(Google アカウント必要)。

- ③ 受領確認： エントリー(作品)の受付確認に関しては、エントリーで入力された代表者のメールアドレスへ内容受付のメールを自動配信する。メールアドレスについては入力ミスがないように十分確認すること。

#### (4) 本選への参加

本選は、2023年11月11日(土)・12日(日)に実施する。本選の詳細[本選出場要項等]に関しては、9月中旬にデザコン 2023in 舞鶴公式ホームページに公開するとともに、予選通過チームの代表学生および指導教員にメールにて直接通知する。

#### (5) 参加費

- ・ 予選審査費は 1 作品につき 2,000 円とし、本選参加費は 1 名あたり 1,800 円とする。
- ・ 予選審査費は 2023 年 8 月 28 日(月)までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 本選参加費は 2023 年 10 月 31 日(火)までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 振り込み者名は、「高専名の略称、空白、エントリー番号、空白、担当者名」とすること。  
例) マイヅル 23 コウセンタロウ
- ・ 振り込まれた予選審査費および本選参加費について、いかなる場合においても返金には応じない。

#### 【振込口座】

銀行名：ゆうちょ銀行
店名：四四八（読み：ヨンヨンハチ）
店番：448
口座種別：普通預金
口座番号：5361124
口座名義：全国高等専門学校デザインコンペティション ゼンコクコウトウセンモンガッコウデザインコンペティション

## 4. 応募資格

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生及び専攻科生とする。
- (2) チームは、1 から 4 名で構成する。
- (3) チームメンバーの所属する学科や専攻は問わない。
- (4) 同一人物が空間部門の複数チームに参加することは認めない。
- (5) 同一人物の予選へのエントリー制限について  
デザコン 2023 in 舞鶴では、空間デザイン部門・創造デザイン部門・AM デザイン部門の 3 部門のうち 1 部門にしか応募できない。ただしこの 3 部門で予選通過できなかった場合には、構造デザイン部門への応募を可とする。

## 5. 審査員及び審査方法

審査方法は、予選、本選ともに審査員の協議によるものとする。なお、本選は公開審査とする。

委員長：横内 敏人（建築家 横内敏人建築設計事務所代表）

委員：玉置 順（建築家 玉置アトリエ代表）

委員：松本 尚子（建築家 木村松本建築設計事務所代表）

## 6. 表彰

- (1) 最優秀賞(日本建築家協会賞(予定)) 1 点
- (2) 優秀賞 2 点
- (3) 審査員特別賞 2 点

## 7. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載また Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには応募作品とともに応募学生名、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。なお、予選に提出された応募作品についても公開を予定している。

## 8. 付記

- (1) 応募作品には他のコンテスト、コンペティションに応募したものを使用してはならない。
- (2) 応募要項に違反した場合は失格となる場合がある。
- (3) 応募作品は返却しない。
- (4) 応募作品の取り扱いにおいて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。また、輸送時の損傷についても主催者は一切責任を持たない。
- (5) プレゼンテーション資料の作成にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現を用いること。

空間デザイン部門

☆質疑に対する回答

No.	質問校	質問	回答
1	釧路高専	20 人程度が居住可能な住宅とありますが、運用当初から 20 人が住まう必要はありますか？	募集要項の中に「募集要項の内容(課題内容、設計条件)に関する質疑応答は行わない」との記載がありますので、回答は行いません。
2	鹿児島高専	条件にある 20 人程度とはそこに住む住人のことを指していますか？敷地内にゲストルームや宿泊客専用の施設を設けて複合施設のようにする場合、20 人程度に宿泊客や客人は含めてよいのか教えていただきたいです。	募集要項の中に「募集要項の内容(課題内容、設計条件)に関する質疑応答は行わない」との記載がありますので、回答は行いません。
3	高知高専	1:選択科目でデザコン課題を授業で扱っています。万が一、本戦出場になると当校学園祭の日になってしまいます。その場合、グループの少なくとも一人の参加でよろしいでしょうか。	本選における発表などに支障が出なければ、特に問題ありません。

空間デザイン部門 予選エントリー一覧

高専名（キャンパス名）	氏名（○ 代表者）
釧路高専	○佐藤 陽気, 萩原 周真
釧路高専	○右田 孝太, 庄司 樹里
釧路高専	○渡邊 海輝, 山口 杜基, 三橋 優祐
釧路高専	○渡邊 紅音, 狩野 由奈, 武田 紗奈
釧路高専	○荻島 慧大, 宮原 心温
釧路高専	○高橋 柚菜, 松田 桜
釧路高専	○池田 祥音, 樋田 周聖
釧路高専	○鈴木 蓮, 仙石 瑛斗, 惣宇利 瑠可
釧路高専	○佐藤 澄果, 竹田 早希
仙台高専・名取キャンパス	○古川 鈴音, 河西 絵里奈, 工藤 こうみ, 鈴木 璃莉
仙台高専・名取キャンパス	○佐々木 望夢, 田邊 優和, 高野 昊樹, 國府田 かつ子
仙台高専・名取キャンパス	○栗和田 寛大, 齋藤 由良, 畠山 綺, 草野 怜旺
仙台高専・名取キャンパス	○及川 純也, 亀岡 菜花, 長沼 杏, 敦賀 柚姫
仙台高専・名取キャンパス	○高橋 涼馬, 相庭 啓佑, 齋藤 温, 小野寺 遥香
仙台高専・名取キャンパス	○伊澤 好風, 加藤 颯, 吉岡 冬雪, 大越 綾乃
仙台高専・名取キャンパス	○吉田 勝斗, 佐藤 唯央, 下山 凌河, 伊藤 弓史
仙台高専・名取キャンパス	○梅津 匡佑, 早坂 真之介, 佐々木 心音, 早坂 水希
仙台高専・名取キャンパス	○工藤 碧乃, 桃井 亜里紗, 佐藤 瑞姫, 岩本 瑛
仙台高専・名取キャンパス	○武蔵 翔, 佐々木 颯汰, 菅原 沙弥翔, 高橋 倭都
仙台高専・名取キャンパス	○佐野 竣亮, 高野 莉緒, 根元 花梨, 齋藤 陽希
仙台高専・名取キャンパス	○安倍 里緒菜, 中村 向日葵, 中塚 歌歩, 佐々木 美玖
仙台高専・名取キャンパス	○渡辺 那美, 鈴木 拓跳, 菅野 翔太郎
仙台高専・名取キャンパス	○平塚 愛唯, 竹内 駿翔, 長谷部 大夢, 高橋 朋希
仙台高専・名取キャンパス	○藤島 愛梨, 早坂 凜, 三浦 夢瑚, 丹野 和奏
仙台高専・名取キャンパス	○佐藤 颯, 尾崎 麗桜, 本田 佳奈絵, 大河原 煌生
福島高専	○鯨岡 北斗, 紙谷 李華, 柳内 美瑠, 野崎 莉功
小山高専	○村田 千紗, 佐藤 由唯
長野高専	○佐久間 幸太郎, 高野 快成
長野高専	○後藤 空也, 青木 桃音
長野高専	○田原 一樹, 田中 美帆
サレジオ高専	○水津 梢英, 松本 昊士, 大類 咲希, 相葉 悠海
サレジオ高専	○坂東 礼実, 木下 空澄, 望月 里江子, 岩崎 七海
サレジオ高専	○真鍋 歩希, 鈴木 心寧, 濱中 昂, 田後 朋輝
石川高専	○大菅 琴和, 釣谷 典生
石川高専	○林 恭平, 東 稜子
石川高専	○佐々木 海人, 中村 木結芽, 安田 明生, 保地谷 日南
石川高専	○中出 悠
岐阜高専	○中谷 文乃
岐阜高専	○早矢仕 怜汰, 南谷 陽平, 瀬上 嵩斗, 瀬 仁一郎
岐阜高専	○天田 百合子, 田口 広美, 手島 来惟
岐阜高専	○棚橋 亮仁
岐阜高専	○武藤 創太
岐阜高専	○兼山 瑛匡
岐阜高専	○深澤 真悠子
岐阜高専	○畑佐 向日葵, 大林 千紘
岐阜高専	○水口 聖菜
岐阜高専	○岩田 琴香
豊田高専	○三浦 緋奈, 笠原 颯真, 宮本 ちかの, 吉田 嶺介
豊田高専	○長岡 瑞樹, 高橋 末和, 松原 香穂
豊田高専	○沖 杏美花, 大河内 柚季, 小澤 果歩, 矢浦 このみ
豊田高専	○古賀 舜大, 金子 愛士, 阿部 泉穂, 加藤 万琳

空間デザイン部門 予選エントリー一覧

高専名（キャンパス名）	氏名（○ 代表者）
豊田高専	○市川 愛莉, 木村 遼平, 島 瑞穂, 野口 楓人
豊田高専	○三鬼 優矢, 倉岡 秀大, 深見 駿之助, ファロス アダム
豊田高専	○岡田 菜子, 井澤 琴菫, 川瀬 優奈, 林田 実樹
豊田高専	○三明 真理子, 鈴村 里緒葉, 山田 聖也, 有馬 幹汰
豊田高専	○村松 稜太, 角野 心音, 中島 颯亮, 原田 蓮珠
豊田高専	○戸軽 大智, 寺島 一翔, 吉開 大貴, 内藤 康介
豊田高専	○鈴木 陽介, 谷 柊汰, 神尾 遼太郎
豊田高専	○川崎 翔央, 中山 成史, 中田 圭一郎
豊田高専	○伊東 悠太, 毛塚 優生, 杉浦 美羽, 中江 琉生
豊田高専	○辰己 詩果
豊田高専	○山口 陸玖, 藤永 章之介, 横田 大, 杉山 さくら
豊田高専	○鶴田 光輝, 水野 大生
豊田高専	○石黒 更希
舞鶴高専	○江田 雪乃
舞鶴高専	○亀井 俊輔, 梅宮 文瑠, 石高 五樹
舞鶴高専	○中村 千尋
舞鶴高専	○中村 茅稀, 酒井 悠生, 河瀬 絢香, 関 源心
舞鶴高専	○小山 愛加, 磯田 倫花
舞鶴高専	○日下部 元喜, 奥田 歩
明石高専	○藤本 卓也
明石高専	○田中 敦大, 津崎 佳乃, 畠 美紗貴, 安田 陸
明石高専	○大西 創, 妹島 賢治, 田辺 晃聖
明石高専	○山口 大空, 川口 杜明, 福田 まや, ホルト ラクサ
明石高専	○猪野 将, 小林 日向, 竹田 千尋, 田中 大登
明石高専	○島 知伽, 坂崎 倅平, 杉山 萌, 田中 希彩
明石高専	○山本 真幸, 大西 治季, 松田 快翔
明石高専	○金端 息吹, 小堀 裕輝, 馬場 悠成, ユーツ 望天
明石高専	○川中 優梨子, 首浦 胡桃, 増本 唯衣
明石高専	○福田 一晟, 石垣 樹, 木方 智之, 栗田 あおい
明石高専	○伊口 蒼真, 松島 太陽, 石原 淳之介, 井本 百萌
大阪公立大学高専	○高木 梨海
大阪公立大学高専	○伊藤 裕路音
大阪公立大学高専	○高橋 陽菜
大阪公立大学高専	○丸山 脩司
大阪公立大学高専	○山本 陸太
米子高専	○野口 凜太郎
米子高専	○岸田 空大
米子高専	○松原 ひな子, 徳田 来夏, 宮本 澤
米子高専	○河原 朱里
米子高専	○河村 謙佑
米子高専	○加茂 大助
米子高専	○森灘 亜実, 中井 綾音, 藤川 理子, 藤田 真綾
米子高専	○松永 旭陽
米子高専	○松本 結郁, 三好 雪心, 中島 奈々, 市原 広菜
米子高専	○佐々木 律
米子高専	○梅林 蒼, 濱崎 大志, 谷野 彼方
呉高専	○金谷 賢志朗
呉高専	○橘高 雷士, 川村 真由, 小嶋 翔太
呉高専	○中川 皓晴, 藤野 弘大, 妹尾 凌成, 白武 和
呉高専	○宮本 知輝, 林 青空, 上江洲 悠希
呉高専	○元永 龍志, 大坂 康介, 佐藤 舜, 藤井 脩真



空間デザイン部門 予選エントリー一覧

高専名（キャンパス名）	氏名（○ 代表者）
呉高専	○石田 瑠花, 岡戸 和音, 高美 佑衣果
徳山高専	○木本 貫太, 宇留島 聖奈, 長岡 佑
阿南高専	○藤川 大輝, 美馬 好大, 遠藤 蒼太, 滑川 由菜
阿南高専	○野村 侑世
阿南高専	○森 悠成, 笠江 彰, 高橋 颯太, 前田 和那
高知高専	○沖廣 亮太
高知高専	○白川 真衣, 武智 仁奈, 石村 倭夏子, 鳥生 輝人
高知高専	○織田 侑駿
高知高専	○中城 宗謙
高知高専	○大串 はな, 吉本 真名, 井本 眞菜
高知高専	○吉田 蓮太
高知高専	○高橋 芽生
有明高専	○前田 梨湖, 久保 陽愛, 村上 そら
有明高専	○小熊 楓
有明高専	○古嶋 由詩, 加賀田 梨李香
有明高専	○大隈 匠, 増田 響
熊本高専・八代キャンパス	○泉 友莉恵, 梅田 知華, 中村 琉那
熊本高専・八代キャンパス	○長尾 泰雅, 中神 達也, 吉村 滉一郎
熊本高専・八代キャンパス	○卯野木 海尋, 梅木 心, 船本 誠志郎, 山下 大輝
熊本高専・八代キャンパス	○森山 結衣, 寺本 樹生, 中原 水月
熊本高専・八代キャンパス	○光永 愛実
熊本高専・八代キャンパス	○野田 綾乃, 稲尾 和, 緒方 空, 牧野 このか
熊本高専・八代キャンパス	○上田 結子, 荒田 紗英, 作田 秀斗
熊本高専・八代キャンパス	○柴田 海斗, 中村 朋麒, 渡並 俊介, 山尾 悠真
熊本高専・八代キャンパス	○村井 陽向子, 飯谷 彩乃, 西村 羽誕
熊本高専・八代キャンパス	○小出 直弥, 小森田 夏実, 坂口 智哉, ガンボルド エンフマー
大分高専	○竹尾 紅太郎, 後藤 駿介, 佐藤 優太, 渡邊 滉
都城高専	○蛭原 勇飛
都城高専	○金子 晴飛, 福岡 千祐, 日野 姫凧, 小山 海南子
都城高専	○原口 隼人, 今西 拓詩, 野口 菜々美, 戸高 彩菜
都城高専	○溜池 琉人
都城高専	○兒島 悠羽
都城高専	○新田 愛弥
鹿児島高専	○西 真秀, 宇治 小春, 中村 まりあ, 細川 爽楽

デザコン2023 空間デザイン部門 予選通過作品

2023/9/19

作品番号	作品名	高専名 (キャンパス名)
22	選択できる洗濯場 ～霧の町釧路の新しい洗濯のあり方～	釧路高専
38	抽象と具象が生むスマイ	岐阜高専
49	『よそ者』と『地域』を紡ぐ集合住宅	岐阜高専
69	医舎住	明石高専
86	風立ちぬ仮寓	明石高専
110	トマリギ	明石高専
114	開いて、閉じて。	呉高専
116	個性が彩るみち	呉高専
131	つつぬけ	舞鶴高専
132	サンドイッチ・アパートメント 3人の単身高齢者と5世帯の家族が暮らす家	舞鶴高専
以上10作品		

**第20回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2023 in 舞鶴**  
**「session-新しい協働の形-」**

**空間デザイン部門 本選出場要項**  
**[テーマ：住まいのセッション]**

**1. 本選概要**

本選では審査員からのブラッシュアップコメントを参照し、予選時の提案からより具体的に内容を深めた提案を成果物としてまとめると共に、各チームが本選会場において対面発表してもらいます。

初日はポスターセッション形式のプレゼンテーションを行い、2日目はプロジェクトを用いたオーラルプレゼンテーションを行い、公開審査によって入賞作品を選出します。本選当日の様子はライブ配信を予定しています。おおよその日程は以下の通りです。

11月11日（土）：本選1日目 13:30～17:00

11月12日（日）：本選2日目 9:00～13:00

**2. 審査・作品展示会場**

舞鶴赤れんがパーク 舞鶴市政記念館（赤れんが2号棟）

（京都府舞鶴市字北吸1039 番地の2）

Tel: 0773-66-1096

**3. 提出物**

(1) プレゼンテーションボード（A1判横向き1枚から2枚）

① 3mmのスチレンボードにポスターを貼りパネル化したプレゼンテーションボード  
プレゼンテーションボードの裏面には、予選審査のエントリー時に返信されたメール本文を印刷し、貼り付けてください。下記の指定日時での郵送または当日（11/11）の持ち込みをお願いします。

② ポスターのpdfデータ（1枚ごとに、データファイルを分けること）

pdfデータのファイル名は、エントリーNo. + 高専名 + ポスター番号（例：110舞鶴高専1、110舞鶴高専2）としてください。また、pdfデータには通し番号を付け、印刷して審査資料として使用しますので、セキュリティはかけないでください。データの提出方法は、別途、指導教員までご連絡いたします。

③ 2日目のオーラルプレゼンテーションで用いるデータ

2日目のPC接続確認時に回収します。USBメモリなどをご用意ください。

## (2) 模型

模型は、7. 作品展示で示した展示範囲に収まるサイズとしてください。模型の搬入は事前の送付（詳細は下記）、または、当日の直接搬入とします。なお送付した場合、前日準備中（11/10）に送付物を確認することはできません。前日（11/10）の会場への入場は禁止とさせていただきます。

## (3) その他

### ①送付先について

プレゼンテーションボードと模型は、下記の住所へ【11月10日（金）12:00～17:00】の間に到着するよう、日時指定をして送付ください。

### <宛先>

〒625-0080 京都府舞鶴市字北吸1039 番地の2  
舞鶴赤れんがパーク 5号棟 デザコン 空間デザイン部門

### <依頼主名の表記>

高専名・エントリーNo.・代表者氏名

### 【注意】

- ・模型の梱包については輸送時に破損等のないように万全を期してください。
- ・送付された模型等は、赤れんが5号棟で保管しています。11日の受付終了後、展示ブースのある舞鶴市政記念館（赤れんが2号棟）まで参加者自身が搬入する必要があります。搬入ルートには屋根がありませんので、雨天の場合の備えもお願いいたします。

### ②模型等の取り扱いについて

プレゼンテーションボードと模型の開封および設置や、審査後の梱包と返送作業等については、原則各学校の学生・教員で行なってください。なお、届いた荷物の取り扱いについては十分に注意して行いますが、作業で生じた破損等については一切責任を負いかねますのでご了承ください。

### ③オフィシャルブック用写真撮影について

オフィシャルブック用に展示物の写真撮影を予定しています。11月11日（土）の午前中に写真撮影する予定です。

#### 4. スケジュール

11月11日（土）＜本選1日目＞

9:30～11:00	プレゼンテーションボード・模型の設営
9:30～11:30	規定違反の有無を確認
9:30～12:30	展示ブースの撮影（オフィシャルブック用）
11:30～12:30	昼休憩
12:30～13:00	開会式@舞鶴市総合文化会館
13:30～13:50	オリエンテーション
13:50～14:15	ポスターセッション 前半
14:20～16:45	ポスターセッション 後半
16:50～17:00	ポスターセッション講評会

11月12日（日）＜本選2日目＞

8:30～9:00	PC接続確認
9:00～9:15	オリエンテーション
9:15～11:15	プレゼンテーション
11:15～11:30	休憩
11:30～12:30	公開審査
12:30～13:00	総評
13:00～13:50	昼休憩・撤収
14:00～15:00	閉会式@舞鶴市総合文化会館
15:00～	撤収・宅配

#### 5. 審査方法について

- 1日目：ポスターセッション形式とします。
  - ・各展示ブースでの発表となります。順番が来たら時間内に発表してください。
  - ・発表はエントリー番号の早い順番で行います。
  - ・各チームの持ち時間は15分とし、うち5分を発表、10分を審査員からの質疑の時間とします。
- 2日目：オーラルプレゼンテーション形式とします。
  - ・PCをプロジェクタに接続して発表することができます。
  - ・発表順は、当日朝のオリエンテーションにおいて、くじ引きで決めます。
  - ・各チームの持ち時間は10分とし、うち6分を発表、4分を審査員からの質疑の時間とします。

※持参したパソコン（HDMI 接続コネクタを有すること）を接続して発表を行ってください。機器トラブルなどに備え、会場には、ノートPC（OS：windows）も予備で用意する予定です。

※1日目の「ポスターセッション講評」、また、2日目の「公開審査」では、審査の必要に応じて再度各

チームに質問をする場合があるので、必ず参加してください。

- ・発表時には、模型を展示ブースから発表用ブースまで運ぶ必要があります。机ごとの移動はできませんので、模型は複数人で持ち上げて運ぶことが可能なつくりとしてください。模型の移動に手が足りない場合は、舞鶴高専のスタッフが補助を行います。
- ・発表時にはスクリーンを横並びで二つ用意します。一つのスクリーンにはPCに接続されたプロジェクタによって発表資料（パワーポイントやPDFデータ）が投影されます。もう一つのスクリーンではハンディカメラの映像が投影されます。
- ・代表者のみで構成されたチームで、ハンディカメラを操作する人員がない場合は、舞鶴高専のスタッフが補助を行います。1日目の終わりに打ち合わせを行うことができますので、スタッフにお申し出ください。

## 6. 本選のライブ配信

本選当日の様子はライブ配信を予定しています。おおよその日程は以下の通りです。

11月11日（土）：本選1日目 13:30～17:00

11月12日（日）：本選2日目 9:00～13:00

## 7. 作品展示（本選参加作品展示ブース・予選参加作品展示）

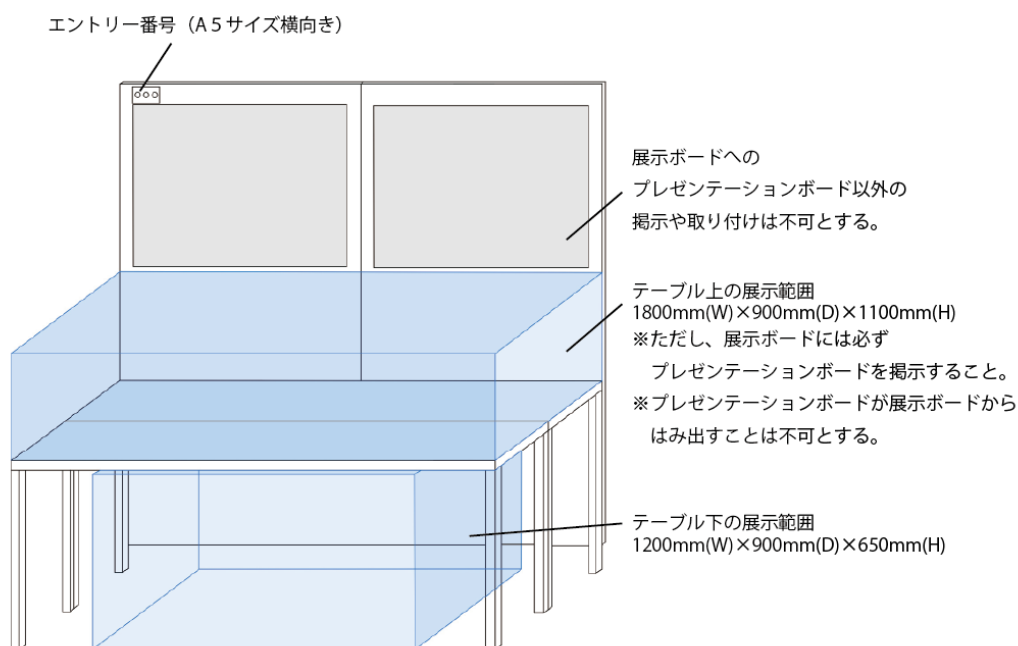
### ●本選参加作品の展示ブースについて

舞鶴市政記念館（赤れんが2号棟）にて本選参加作品10点を展示します。

### ●展示ブース構成について

- ・展示ボード900 mm(W)×1800mm(H)×2枚、テーブル1800mm(W)×450mm(D)×700mm(H)×2台を運営側で用意します。

### 展示ブース構成イメージ図



●以下の展示規定を厳守してください。

- ・展示範囲は展示ブース構成イメージ図で示す範囲とします。
- ・プレゼンテーションボードは、展示ブース構成イメージ図の通りに、展示ボードへの貼り付けを行ってください。展示ボードからはみ出すことはできません。掲示のための押しピンは運営側が用意したものをういてください。
- ・模型以外の展示として、ディスプレイ等の持ち込みは認めますが、会場内の電源は使用できません。モバイルバッテリーなどを各自で準備してください。
- ・展示の補助とする持ち込み備品（ディスプレイや照明等）も展示範囲に収めてください。クリップ、コード等のはみ出しも規定違反とします。
- ・模型の梱包材は、会場の指定の場所（赤れんが5号棟）に保管ください。
- ・会場（赤れんがパーク全域）での模型修正・設置作業が最小限で済むよう事前にご準備ください。会場の水道を用いたスライム・絵の具等の使用は禁止とします。
- ・展示設営後、事務局による規定違反の有無の確認（9:30～11:30）を行います。
- ・違反を指摘された場合は、すみやかに指示に従ってください。指示に従えない場合は失格とします。

●予選参加作品展示

予選参加作品は、赤れんが工房（赤れんが4号棟・創造デザイン部門横）にて、紹介します。

## 8. 参加費

本選参加費は参加者1名あたり1,800円とし、本選参加費は2023年10月31日（火）までに以下の口座に振り込んでください。

振込口座 / 銀行名：ゆうちょ銀行

店 名：四四八（読み：ヨンヨンハチ）

店 番：448

口座種別：普通預金

口座番号：5361124

口座名義：全国高等専門学校デザインコンペティション

ゼンコクコウトウセンモンガッコウデザインコンペティション

振り込み者名は、「空間高専名の略称、空白、エントリー番号、空白、チーム代表者名」としてしてください

例) クウカンマイヅル 23 コウセンタロウ

※複数チームでまとめて振込む場合は

「クウカンマイヅル コウセンタロウ ケイ2チーム」等記載ください。

振り込まれた本選参加費については、返金には応じることができません。

## 9. 模型等の返送について

- ・会場からの配送を希望される場合は、初日の受付時にお申し出ください。佐川急便の着払い伝票をお渡しします。
- ・荷物一つあたりの三辺合計が260cm以内かつ50kg以内となるよう梱包してください。

## 10. その他

- ・荷解きや梱包が簡単に済むよう工夫をしてください。
- ・模型は設置が簡易なものとしてください。
- ・運搬が困難な形状や重量、荷解き後に組み立てや補修が必要な作りにしないようお願いいたします。
- ・応募作品の著作権は基本的に製作者に帰属しますが、主催者の使用を妨げないものとします。
- ・オフィシャルブックには応募作品と共に指導教員の氏名が記載されます。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意をいただいたものとします。
- ・本要項に変更があった場合は、指導教員にメールで連絡または本選オリエンテーション時に説明します。
- ・本選の様子はTeams（高専限定）を使用したライブ配信を行う予定です。アドレス等は別途連絡します。発表内容については著作権に十分配慮してください。
- ・事情により、各種変更が生じる場合があります。ご迷惑をおかけしますがご理解、ご協力のほどよろしく申し上げます。なお、空間デザイン部門の本選開催に関して、質問等がありましたら、下記までご連絡ください。

e-mail : dc-23kukan@maizuru-ct.ac.jp      空間デザイン部門担当 徳永



## デザコン2023 in 舞鶴 結果一覧

空間デザイン部門		
賞名	高専名	作品名
最優秀賞 (日本建築家協会会長賞)	舞鶴高専	サンドイッチ・アパートメント 3人の単身高齢者と5世帯の家族が暮らす家
優秀賞	岐阜高専	『よそ者』と『地域』を紡ぐ集合住宅
優秀賞	呉高専	個性が彩るみち
審査員特別賞	明石高専	風立ちぬ仮寓
審査員特別賞	呉高専	開いて、閉じて。
日建学院賞	釧路高専	選択できる洗濯場 ～霧の町釧路の新しい洗濯のあり方～
三菱地所コミュニティ賞	岐阜高専	抽象と具象が生むスマイ
エーアンドエー賞	明石高専	トマリギ

## 第 20 回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2023 in 舞鶴 「session」

### 創造デザイン部門 募集要項

#### 【テーマ：デジタル技術を用いた well-being に向けての都市と地方の融合】

【課題概要】 舞鶴大会では、都市と地方の融合(session)をテーマに、3D 都市モデルのオープンデータ「Project PLATEAU(プラトー)」を用いたアイデアを募集します。日本では都市の過密と地方の過疎が年々進行し、私たちの well-being(充実した生)を損なっています。例えば、都市ではコロナ禍でも密な通勤ラッシュ、しかし、その一方で地方では商店街は疎になりシャッター街化が進んでいます。このような生き辛さや風景をこれからも受け入れるしかないのでしょうか。都市と地方を融合(session)させることで、私たちの well-being を高めるアイデアを期待しています。

\*\*\*\*\* 審査委員長からのコメント \*\*\*\*\*

3D 都市モデルやシミュレーションといった都市におけるデータ活用の王道は「最適化」です。大量のデータを集めてきて目的を設定する。それに向かって最も効率的な解を求めていくという方向性です。例えば街路ネットワークや属性情報が付いた建物の形状をデジタルツイン上で再現することによって、今後起こり得ることをある程度予測して回避することが可能になりつつあります。

いっぽうで、今後の我々の社会が直面する課題：人々の幸せやウェルビーイングを考慮した都市空間や都市生活、地域創生といった問題系はデータの最適化だけで解けるものではありません。そこには人間の想像力を働かせながら創造していく力と、「都市にデータをもちいるセンス」が重要になってきます。

みなさんは何気ない日常生活のなかにおいて、「あの子は服のセンスが良い」とか、「デザインのセンスが良い」、「音楽のセンスが良い」と話し合っていることだろうと思います。同じ意味において、都市にデータをもちいる時にも「センスの良さ」がキーとなってきます。

今回のコンペティションを通してそのようなセンスを磨いて欲しいと思います。そして最も重要なことに今回のコンペティションを是非楽しんでもらいたい。ウェルビーイングとは「私」の幸せだけではなく、私の周りにいる人々みんなが良い状態であるためには、どんな空間が必要なのかを考えていくことです。その為にはまず、当事者である皆さんのウェルビーイングを高める必要があると考えます。ウェルビーイングを提唱している当事者がつまらなそうにしていたり、苦しんでいたりでなかでウェルビーイングの必要性を訴えても説得力がありません。

僕も楽しみながらみなさんからの提案を審査したいと思っています。思ってもみないようなデータの使い方、全く予想もしていない、我々の想像力を掻き立てるような提案を待っています。

## 1. 提案条件

- ① 持続可能<sup>\*1</sup>な社会や地域創生につながる「創造性<sup>\*2</sup>のあるサービス（こと）」の「プロセスデザイン（どのようなストーリーで地域の人々を支援するか）」を提案すること。「創造性のある製品（もの）」を提案する場合には、その「製品（もの）」がどのような仕掛けで地域振興に関与していくのかという「プロセスデザイン（ストーリー）」も併せて提案すること。特に、創造デザイン部門では、「こと」興しを重視していることから、「こと」興しの仕掛けのみに特化する「プロセスデザイン」も含まれる。「もの」のみの提案は不可とする。  
<sup>\*1</sup> 持続可能とは、SDG's(持続可能な開発目標)などの国際的な取組みがあるので参考にするように。  
<sup>\*2</sup> 創造性とは多様な人々による様々な視点からアイデアを何度も再構築することにより生まれたものを示す。
- ② 地域（人、企業・自治体・NPO・住民組織など）が抱えている課題を解決するための「こと」を興すプロセスを提案すること。地域課題を捉えるには、“現場の情報に当たる”必要があるが、その方法としては、まず仮説を立て、その仮説を検証するフィールドワーク（観察）、インタビュー調査などが考えられる。しかし、必ず当事者（問題を抱えている人）の声を直接聞き、そして共感（empathy）して問題の本質を探り当てるように心がけること。
- ③ プロセスデザインは、人（当事者）のニーズから出発し、目標とする地域像を実現するためのプロセスを提案するものである。そのプロセスの中には、地域資源や既存技術・実現可能と思われる技術・知識をどう融合させるか、地域内外の人々がどうコミュニケーションするか、といった内容が含まれる。本課題では、こうしたプロセスに高専がいかに関わるか、その役割を示すことが求められる。
- ④ 提案には、3D 都市モデル<sup>\*3</sup>のオープンデータである PLATEAU（プラトー）<sup>\*4</sup>を活用すること。活用とは、PLATEAU のデータの何を、どのように活用するかにとどまらず、PLATEAU のデータにこのようなものを追加すれば、このようなことができるようになるでも良い。

<sup>\*3</sup> 3D 都市モデルとは、都市空間の形状を単に再現した幾何形状（ジオメトリ）モデルではない。都市空間に存在する建物や街路、橋梁といったオブジェクトを定義し、これに名称や用途、建設年、行政計画といった都市活動情報を付与することで、都市空間の意味を再現したセマンティクス・モデルである。このセマンティクスにより、フィジカル空間とサイバー空間の高度の融合が可能となり、都市計画立案への活用や、都市活動のシミュレーション、分析が可能となるものである。

<sup>\*4</sup> PLATEAU（プラトー）（URL：<https://www.mlit.go.jp/plateau/>）とは、2020 年から国土交通省が進める 3D 都市モデル整備・活用・オープンデータ化のプロジェクトである。都市活動のプラットフォームデータとして 3D 都市モデルを整備し、そのユースケースを創出。さらにこれをオープンデータとして公開することで、誰もが自由に都市のデータを引き出し、活用できることを目指している。現在全国で 56 都市が構築対象都市として参画している。

### ※ 参考

PLATEAU VIEW：PLATEAU のデータをプレビューできる、ブラウザベースの Web アプリケーション

<https://www.mlit.go.jp/plateau/app/>

G 空間情報センター：3D 都市モデルのデータセットをオープンデータとして公開

<https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/plateau>

- ※ PLATEAU（プラトー）についての説明動画と資料は 2023 年 8 月上旬まで下記で公開する（下記の QR コード からアクセス可能）。今年度は昨年度実施した Web レクチャーは行わない。

説明動画

[https://drive.google.com/file/d/1kbXRDJVe42BeD\\_\\_OfdJim6Iwq6ToShSg/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1kbXRDJVe42BeD__OfdJim6Iwq6ToShSg/view?usp=sharing)

説明資料

<https://docs.google.com/presentation/d/17vgW4qoIrdMzmDxnVmzzodqQLzwQw18J/edit?usp=sharing&oid=100038005467592752458&rtfpof=true&sd=true>

説明動画



説明資料



説明動画や資料に対する質問は、下記の創造デザイン部門事務局へメールで連絡すること。回答はデザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページの創造デザイン部門の「質疑応答」で公開する。なお、動画説明をされている内山審査員への直接メールによる質問はしないこと。

舞鶴高等専門学校 創造デザイン部門事務局 e-mail : dc-23sozo@maizuru-ct.ac.jp

## 2. 評価指標

提案は、次の五つの視点（地域性、自立性、創造性、影響力、実現可能性）から評価する。従って、以下の

①～⑤の内容を含むように留意すること。

① 地域性（地域の事情を踏まえた施策であること）

客観的なデータにより各地域の事情や将来性を十分に踏まえた持続可能な提案であること。

② 自立性（自立を支援する施策であること）

地域・企業・個人の自立に資するもの、「ひと」「しごと」の移転・創造を含み、特に外部人材の活用も含め「ひと」づくりにつながる提案であること。

③ 創造性（多様な人々により熟考されていること）

創造性を意識した提案であること。創造性は、多様な人々によるさまざまな視点からアイデアを何度も再構築することにより生まれるといわれている。創生事業は、一つの分野だけで解決できるものではない。そこに関係する様々な人々を巻き込んで生まれた創造性のあるアイデアを提案すること。

④ 影響力（課題解決に対する影響力）

本テーマに応募する原動力となった課題に対して、提案したアイデアがいかにパワフルで影響力がありそうかを評価する。一過性のものではなく、深く・強いアイデアを期待する。

⑤ 実現可能性（10年後までの実現可能性が1%でも見いだせばよい）

万人が納得できる論理的根拠に基づく提案であること。

### 3. 競技方法

創造デザイン部門は、予選と本選に分けて実施する。

#### (1) 予選

審査員は、プレゼンテーションポスター A 1 サイズ（横向き）1 枚(画像データ)に基づく審査の結果から本選に出場する 10 点以内を選出する。審査結果は、デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページ (<https://デザコン.com>) に公開する。審査結果は、10 月上旬に公開予定である。

#### (2) 本選

本選 1 日目は、予選結果連絡時のフィードバックコメントをもとにブラッシュアップしたポスターを持ち込み、ポスターセッションを行う。そのうえでワークショップを行い、さらにポスターをブラッシュアップする。本選 2 日目は、1 日目にブラッシュアップしたポスターデータを使用したプレゼンテーションを行い、審査員の評価によって賞を決定する。

- ・ 1 日目： 応募チームごとのポスターセッション、ワークショップ、ポスターのブラッシュアップ
- ・ 2 日目： プレゼンテーション、審査員講評

詳細は、10 月上旬にデザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページに公開される本選出場要項にて改めて説明する。

### 4. 応募方法等

Web による手続きとする。Web による手続きを利用するためには、Google アカウントが必要となる。なお、創造デザイン部門では、プレゼンテーションポスターの画像データファイルのアップロード（Web）による提出を求める。

#### (1) 質疑応答

募集要項の内容（課題内容、提案条件）に関する質疑応答は行わない。ただし、PLATEAU（プラトー）および日程・提出方法などの事務的な質疑については、下記の期間・方法にて受け付ける。

受付期間： 2023 年 4 月 24 日(月)から 6 月 7 日(水)17:00

- ① 質問方法： デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページの創造デザイン部門の「質疑受付」から行う（Google アカウント必要）。
- ② 回答公開： 5 月上旬～6 月中旬に、デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページの創造デザイン部門の「質疑応答」にて、回答の内容を公開する。

#### (2) 予選エントリー時の提出物

① プレゼンテーションポスター A 1 サイズ（横向き）1 枚の画像データ [予選エントリーフォーム（Web）アップロード用]

- ・ 画像データのファイル形式は、PDF（.pdf）とすること。
- ・ アップロード可能なファイルサイズの上限は 300MB だが、文字が読める範囲でできるだけ小さくすること。
- ・ **プレゼンテーションポスターには高専名と氏名を記載しないこと。**
- ・ ファイル名は、[高専名・キャンパス名\_代表者学生氏名]（「高専」「キャンパス」の文字は除く。）とする。  
例) 舞鶴\_高専太郎.pdf または 仙台\_名取\_仙台太郎.pdf

#### (3) 予選エントリー手続き

- ① 受付期間：2023年7月26日（水）～2023年8月30日（水）17:00
- ② 応募方法：デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページの創造デザイン部門の「エントリー」から行う（Google アカウント必要）。なお、予選エントリーフォームで入力する「提案概要」の内容は、審査に影響しない。
- ③ 受領確認：エントリー（作品）の受付確認に関しては、エントリーで入力された代表者および指導教員のメールアドレスへ内容受付のメールを自動配信する。メールアドレスについては入力ミスがないように十分確認すること。

エントリー漏れがあった場合には、指導教員が下記メールアドレス宛に8月31日（木）までに連絡すること。

舞鶴高等専門学校 創造デザイン部門事務局 e-mail : dc-23sozo@maizuru-ct.ac.jp

#### (4) 本選への参加

本選は、2023年11月11日（土）・12日（日）に実施する。本選の詳細 [本選出場要項等] に関しては、10月上旬にデザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページに公開するとともに、予選通過者の指導教員にメールにて直接通知する。

#### (5) 参加費

- ・ 予選審査費は1作品につき2,000円とし、本選参加者は1名あたり1,800円とする。
- ・ 予選審査費は、2023年9月6日（水）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 本選参加費は、2023年10月31日（火）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 振り込み者名は、「高専名の略称、空白、エントリー番号、空白、担当者名」とすること。  
例) マイヅル 23 コウセンタロウ
- ・ 振り込まれた予選審査費および本選参加費について、いかなる場合においても返金には応じない。

##### 【振込口座】

銀行名：ゆうちょ銀行  
 店名：四四八（読み ヨンヨンハチ）  
 店番：448  
 口座種別：普通預金  
 口座番号：5361124  
 口座名義：全国高等専門学校デザインコンペティション  
 ゼンコクコウトウセンモンガッコウデザインコンペティション

## 5. 応募資格

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生及び専攻科生とする。
- (2) チームは、2～4名で構成する。複数の高専との連合も可とする。
- (3) チームメンバーの所属する学科や専攻は問わない。
- (4) 同一人物が他部門も含め複数のチームに参加することは認めない。
- (5) 同一人物の予選へのエントリー制限について：  
 デザコン 2023 in 舞鶴では、空間デザイン部門・創造デザイン部門・AMデザイン部門の3部門のうち1部門にしか応募することはできない。ただし、この3部門で予選通過できなかった場合には、構造デザイン部門へ

の応募を可とする。

## 6. 審査員及び審査方法

審査方法は、予選、本選ともに審査員の協議によるものとする。

委員長:吉村有司(東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授)

委員:内山裕弥(国土交通省 都市局都市政策課)

委員:塚本明日香(岐阜大学 地域協学センター 助教)

## 7. 表彰

- (1) 最優秀賞 (文部科学大臣賞) 1 点
- (2) 優秀賞 2 点
- (3) 審査員特別賞 2 点

## 8. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載また Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには応募作品とともに参加者、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。なお、予選に提出された応募作品についても公開を予定している。

## 9. 付記

- (1) 応募作品には他のコンテスト、コンペティションに応募したものを使用してはならない。
- (2) 応募要項に違反した場合は失格となる場合がある。
- (3) 応募作品は返却しない。
- (4) 応募作品の取り扱いにおいて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。また、輸送時の損傷についても主催者は一切責任を持たない。
- (5) プレゼンテーション資料の作成にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現を用いること。

創造デザイン部門

☆質疑に対する回答

No.	質問校	質問	回答
1	岐阜高専	募集要項 p. 2 の最下行に「PLATEAU についての説明を別途行う」とあります。この詳細はいつ頃通知されるでしょうか。	PLATEAU (プラトー) についての説明動画を 7 月上旬に公開いたします。



創造デザイン部門 予選エントリー一覧

高専名（キャンパス名）	氏名（○ 代表者）
釧路高専	○中川 真緒, 野村 日菜子, 大和 由珠, 白幡 真千
仙台高専・名取キャンパス	○霜山 詩織, 堀 瑠采, 松森 英香
仙台高専・名取キャンパス	○日塔 晴菜, 齋藤 花楠子, 山田 千陽
仙台高専・名取キャンパス	○西嶋 琉衣, 鈴木 おりん, 佐々木 愛, 福士 明日香
石川高専	○澤田 慶太, 森田 はるか, 室岡 姫奈
石川高専	○岩田 英華, 宮城 豪, 本馬 颯太, 北川 真
福井高専	○窪田 多久見, 佐々木 飛翔, 並河 壮真, 泉 秀哉
岐阜高専	○向田 有社, 飯塚 温都, 西尾 友佑, 土屋 有志
舞鶴高専	○鮫島 皓介, 和田 亮
明石高専	○横田 有香, 青木 乃保, 長手 美澪, 野村 憲輔
明石高専	○川路 優祐, 藤井 遥帆, 高柳 蒼良, 松本 太樹
明石高専	○谷口 碧, 谷塚 朱莉, 合田 快成, 三木 佑介
明石高専	○宮本 真実, 掛下 心晴, 桜井 冬羽
明石高専	○正岡 紗季, 前田 愛侑, 増本 祥太
呉高専	○縄田 大空, 濱村 綾音, 吉田 咲葉
徳山高専	○池田 琴音, 有馬 佑月希, 内山 七美, 川元 花菜
高知高専	○森 悠夏, 堅田 望夢, 石本 一真, 竹村 紗也香
有明高専	○矢野 結実子, 高村 果歩, 坂本 樹花, 加藤 輝笑
有明高専	○盤若 日向, 古賀 夕貴, 西村 遙華, 西村 優希
有明高専	○木本 翔太, 船原 拓朗, 小田 陽太郎, 鐘ヶ江 彩那
有明高専	○宇佐 仁徳, 田中 碧, 竹下 翔琉
都城高専	○勝田 悠日, 前田 真明

デザコン2023 創造デザイン部門 予選通過作品

2023/10/2

作品番号	作品名	高専名 (キャンパス名)
1	PLAっと農業	舞鶴高専
5	ぷらっと～RINOBUる	都城高専
7	いただきまーす！	明石高専
10	次元を超えたまちづくり マホロバ	明石高専
11	いなみのいきもの万博～ため池を未来につなぐために～	明石高専
14	水鞠	明石高専
18	有明計画2050～未来の都市の在り方～	有明高専
19	たかが「雪かき」されど「雪かき」	石川高専
以上8作品		

# 全国高専デザコン 2023 in 舞鶴 創造デザイン部門 本選出場要項

## 1. 本選概要

### (1) テーマ

デジタル技術を用いた well-being に向けての都市と地方の融合

### (2) 日程

2023 年 11 月 11 日 (土)、12 日 (日)

### (3) 会場

舞鶴赤れんがパーク 4 号棟 1 階

〒625-0080 京都府舞鶴市字北吸 1039 番地の 2

### (4) 本選に向けて

- 本選までの期間、審査員からのコメントを参考にブラッシュアップした提案を発表して頂きます。

## 2. 審査

### (1) 審査方法

- プレゼンテーションおよび質疑に基づき審査を行います。
- 審査員 3 名の評価により、最優秀賞（文部科学大臣賞）1 点、優秀賞 2 点、審査員特別賞 2 点を選出します。

### (2) 審査委員

- 委員長：吉村有司(東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授)
- 委員：内山裕弥(国土交通省 総合政策局/都市局 IT 戦略企画調整官)
- 委員：塚本明日香(岐阜大学 地域協学センター 助教)
- ワークショップ・ファシリテーター：山口覚(LOCAL&DESIGN 株式会社 代表取締役・津屋崎ブランチ LLP 代表)

### (3) 審査指標

- 予選審査での 5 つの指標（地域性、自立性、創造性、影響力、実現・持続可能性）に、プレゼンテーションを加え、6 つの指標で評価します。
- プレゼンテーションはワークショップを実施した上で、プレゼンテーションでの説明と質疑応答を総合的に評価します。

## 3. 本選のスケジュール

### (1) 本選タイムテーブル

- 11 月 11 日 (土)
  - 9:30~10:00/受付・作品展示
  - 10:15~10:30/オリエンテーション
  - 10:30~11:30/ポスターセッション
  - 11:30~12:15/昼休憩
  - 12:30~13:00/開会式
  - 13:15~15:00/ワークショップ

15：00～15：30／意見まとめ

15：30～17：00／ブラッシュアップ

○ 11月12日（日）

9：00～9：10／オリエンテーション

9：10～11：10／プレゼンテーション

11：10～12：00／審査 ※公開パートと非公開パートがあります

12：00～13：00／昼休憩

13：00～13：20／審査結果発表・総評

13：20～13：45／学生交流

14：00～15：00／閉会式

## （2）11/11(土)10:30 - 11:30 ポスターセッション

○ 審査員への発表持ち時間は1チーム当たり、発表3分 + 質疑応答3分+入替1分です。

<ポスターセッション>

○ 各チームのブースには、1800 mm (W) × 2000 mm (H) の衝立、700/1400 mm (W) × 600 mm (D) × 700mm (H) のテーブルを用意します。テーブル及び衝立には、作品説明に必要な模型や資料などを展示することができます。衝立への掲示には針先が細い画鋏又はテープをご用意ください。



## （3）11/11(土)13:15 - 17:00 ワークショップ・意見まとめ

### ・ブラッシュアップ

○ ワークショップでは、各チーム間のアイデア共有を行ったあと、チーム内で意見をまとめます。その後、各自の提案のブラッシュアップ作業に入ります。

○ ワークショップのグループメンバーの割振りは運営者が行います。

## （4）11/12(日)9:10 - 11:10 プレゼンテーション

○ 審査員への発表持ち時間は1チーム当たり、発表6分 + ディスカッション7分+入替1分です。

○ プロジェクタ（HDMI 接続）1台、スクリーン1台で審査員に対して提案の説明を行います。またプロジェクタには、各自持参したPC（HDMI 接続コネクタを有すること）を接続し、ポスターの内容、スライド、写真や動画などを投影し、プレゼンテーションを行います。

## 4. ポスターおよび展示物

○ 本選のポスターセッションで使用するポスターは、A1判サイズ（横向き）1枚で作成し、各チームで持参していただいたポスターを使用します。11月11日受付後、10:00までにチームブースにポスター、模型等の展示の準備をしてください。なお、前日の会場への入場は禁止させていただきます。

○ 本選のポスターの画像データ（制作中の様子やチーム集合写真のデータを含む）及びプレゼンスライドデータは、オフィシャルブックへの掲載のため、下記の要領で提出してください。

①ポスター画像データ（制作中の様子やチーム集合写真のデータを含む）

アップロードフォームの URL : <https://forms.gle/1JmgYFMEhEEgxkuJ7>

アップロード期間：11月6日(月)～11月10日(金)12:00

②プレゼンスライドデータ

アップロードフォームの URL : <https://forms.gle/3KicSPvhYxCAAsnL6>

アップロード期間：11月13日(月)～11月17日(金)12:00

- 模型等の郵送が必要な場合は、11月10日(金)12:00～17:00 範囲内着の指定で下記までご郵送下さい。なお、模型の梱包については輸送時に破損等のないように万全を期してください。また、送付された模型等は、赤れんがパーク5号棟で保管しています。11日の受付終了後、展示ブースのある赤れんがパーク4号棟まで参加者自身が搬入する必要があります。搬入ルートには屋根がありませんので、雨天の場合の備えもお願いいたします。

住所：〒625-0080 京都府舞鶴市字北吸 1039 番地の 2

宛名：舞鶴赤れんがパーク4号棟1階 デザコン 創造デザイン部門

依頼主名：高専名・作品番号・代表者名

- 模型等の会場からの配送を希望される場合は、初日の受付時にお申し出ください。佐川急便の着払い伝票をお渡しします。荷物一つあたりの三辺合計が260cm以内かつ50kg以内となるよう梱包してください。

## 5. 参加費

- 本選参加費は参加者1名あたり1,800円とし、本選参加費は2023年10月31日(火)までに以下の口座に振り込んでください。

銀行名：ゆうちょ銀行

店名：四四八（読み ヨンヨンハチ）

店番：448

口座種別：普通預金

口座番号：5361124

口座名義：全国高等専門学校デザインコンペティション

ゼンコクコウトウセンモンガッコウデザインコンペティション

- 振り込み者名は、「創造高専名の略称、空白、エントリー番号、空白、担当者名」としてください。  
例) ソウゾウマイヅル 23 コウセンタロウ  
※ 複数チームでまとめて振込む場合は「ソウゾウマイヅル 23 コウセンタロウ ケイ2チーム」等記載ください。
- 振り込まれた本選参加費については、返金には応じることができません。

## 6. その他

- 応募作品の著作権は基本的に製作者に帰属しますが、主催者の使用を妨げないものとします。
- オフィシャルブックには応募作品と共に指導教員の氏名が記載されます。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意をいただいたものとします。
- 本要項に変更があった場合は、随時デザコンホームページで連絡または本選オリエンテーション時に説明します。
- 本選の様子は Teams を使用したライブ配信を行う予定です。アドレス等は別途連絡します。発表内容については著作権に十分配慮してください。

## 7. 問い合わせ先

舞鶴工業高等専門学校 創造デザイン担当事務局 e-mail: dc-23sozo@maizuru-ct.ac.jp  
事務的な質問のみ受け付けます。課題内容の質疑は受け付けません。

## デザコン2023 in 舞鶴 結果一覧

創造デザイン部門		
賞名	高専名	作品名
最優秀賞 (文部科学大臣賞)	石川高専	たかが「雪かき」されど「雪かき」
優秀賞	舞鶴高専	PLAっと農業
優秀賞	明石高専	次元を超えたまちづくり マホロバ
審査員特別賞	明石高専	いただきまーす！
審査員特別賞	有明高専	有明計画2050～未来の都市の在り方～

## 第 20 回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2023 in 舞鶴 「session」

### AM デザイン部門 募集要項

#### 【テーマ：新しい生活様式を豊かにしよう！ Part2】

**【課題概要】** 舞鶴大会の AM デザインのテーマは、「新しい生活様式を豊かにしよう！ Part2」です。世界では感染症や絶えることのない紛争、気候変動、水問題と様々な出来事、問題により、新しい生活様式を送ることを求められています。色々な問題、混迷を抱える現代において、session～新しい協働の形～を模索し、新しい生活様式を豊かにするアイテムの開発をテーマとして、新しい生活様式を豊かにする新しいアイテムのアイデアを募集します。現在既に謳われている新しい生活様式だけではなく、見方によって、新しい生活様式は無限に広がるものだと考えます。3D プリンターの特性を活用しながら、新しい未来を提案してください。

#### 1. 提案および作品の条件

- ① 作品は「新しい生活様式を豊かにするアイテム」とします。
- ② 作品の部品または、作品の製作工程に必要な部品を 3D プリンター技術により作製してください。実物の機器あるいは模型を製作し、実際に稼動するもの（あるいは稼動状態を模擬できるもの）を示してください。実物スケールである必要はありません。
- ③ 可能な限り、会場にて実演を行ってください。会場で実演できない場合は、ビデオ撮影での対応や、動作の代替物（例えば水で動作するものをビーズでの動作に置き換える等）を用いた実演をしていただいても構いません。
- ④ 3D プリンターで用いる原材料の種類は問いません。また、エントリーシート提出時に想定した原材料と提出作品に用いる原材料を必ずしも一致させる必要はありません。
- ⑤ 強度計算等の計算を行い、実製品として実現可能性を示してください。実製品を想定する際には一般的な金属（鉄、アルミ、ステンレス等）を使用することを想定しても構いません。
- ⑥ 作品の部品のうち、ボルトなどのネジ類、バネ類、ゴム類については作品の主要部品に含めず、市販品の使用を認めます。また、市販の電子デバイスモジュール等についても使用を認めます。
- ⑦ 特許性がある場合は、必ず大会までに特許の申請を開始しておいてください。また、提案内容が既存特許への抵触がある場合は、事前に特許検索などにより提案者および指導教員が責任をもって確認し、提案書に提示してください。
- ⑧ 現状の法令等との適合度は問いません。



## 2. 評価指標

提案は、次の 4 つの視点で評価します。従って、以下の①～④の内容を含むように留意してください。ただし、その配分は非公開とし、審査員に委ねる。

### ① 3Dプリンターの特性および必然性

3D プリンターは、これまでの切削加工、射出成形と異なり、切削工具や金型が不要な成型、加工技術である。

3D プリンターは、材料や付加加工の違いから数種類のものがあり、その特性も異なる。造型法の例を挙げると、液相光重合法、シート積層法、結合剤噴射法、材料押出法、材料噴射法、粉末床溶融結合法、指向エネルギー堆積法などがあり、材料押出法で材料として溶融樹脂を用いた安価な 3D プリンターが販売されているが、宇宙開発などで用いられる部品としては粉末床溶融結合法で金属の粉末を用いて造形するものもある。また樹脂にしてもプラスチックのような ABS 樹脂から、柔軟なものでマスクなどをカラーで造形するものまである。加えて、一体造形ができることから、ベアリングなどを最初から組み込んで造形したり、切削ではできなかった部品内部の構造（空隙や管路など）まで設計でき、軽量化、断・放熱、熱交換などの機能を有した部品まで造形できる。

単に造形できるだけでなく、切削加工、射出成形と差別化されていること。

### ② 実現可能性（10 年後までの実現可能性が 1%でも見いだせれば良い）

実現性は、今すぐ実現、実行できるものでなくても良いが、このアイデアが必要であることを、論理的に説明していること求める。

### ③ 独自性

アイデアは応募者のオリジナルであること。既存の製品などの改善、改良も良いが、オリジナル性は低いと審査することもある。応募作品のどの点に独自性があるかをアピールすること。

### ④ 社会への影響力

アイデアを用いる、採用することによって、現在の何が、何をして、どのように変わるのかを、論理的に説明していることを求める。多数派の人を対象とせず、少数派の視点にたつて説明をしてもよい。

## 3. 競技方法

大会前の予選と大会当日の本選に分けて実施する。

### 3.1 予選

① 2 章に記す「評価指標」および、6.3 節に記す「審査基準」の(a)～(c)に基づき、提出されたエントリーシートの内容を審査・評価し、本選に出場するチームを選出する。

② 審査結果は、9 月上旬にデザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページ (<https://デザコン.com/>) にて公開するほか、予選通過をした各チームの指導教員へ e-mail により連絡する。

### 3.2 本選

口頭発表とポスター（実演）発表については、以下の通りとする。予選から改良した点や工夫した点があれば、それらの点を含めて提示すること。ただし、予選でのアイデアと本選でのアイデアが本質的に異なることは認められない。なお、発表時間などの詳細については 9 月中旬に公表する。

(1)本選開催日：11 月 11 日（土）、12 日（日）

(2)口頭発表

パワーポイントを用いて提案するアイテムについて発表し、審査員との質疑応答を行う。

(3)ポスター（実演）発表

ポスターや作品を用いて提案するアイテムについて発表し、審査員との質疑応答を行う。

●必須の展示物

- ・ポスター1枚（A1版・縦置き、印刷物を持参すること）
- ・作品（3Dプリンターを活用した造形物）
- 任意の展示物※以下の展示を許可する
  - ・補助的な説明用のポスター（A1版・縦置き1枚まで）
  - ・ノートパソコンやDVDプレイヤー等によるプレゼンテーション
  
- 注記
  - ・作品等を展示するスペースは、1チームあたり、テーブルの幅1800mm×奥行き600mm（予定：本選出場要項に確定した情報を記載する）の範囲とする。また、作品の最大高さを1500mmまでとする。ポスター発表で使用するノートパソコンやDVDプレイヤー等の機材は、各チームで用意することとする。
  - ・口頭発表で用いるパワーポイントファイル（.pptあるいは.pptx）と、必須ポスター1枚のPDF形式ファイル（.pdf）を提出すること。提出方法などの詳細については、10月中旬までに連絡する。

## 4. 応募方法

Webによる手続きとする。

### 4.1 質疑応答

募集要項の内容（提案条件、競技方法等）に関する質疑応答を下記の期間・方法にて受け付ける。

- ① 受付期間：2023年4月24日（月）～5月8日（月）17:00
- ② 質問方法：デザコン2023 in 舞鶴公式ホームページのAM部門の「質疑受付」から行う（Googleアカウントが必要）。
- ③ 回答公開：5月中旬に、デザコン2023 in 舞鶴公式ホームページ（<https://デザコン.com/>）にて、回答の内容を公開する。

### 4.2 予選エントリー手続き

#### (1) 予選エントリー時の提出物（AMデザイン部門\_エントリーシート）

- ・デザコン2023 in 舞鶴公式ホームページ（<https://デザコン.com/>）の様式集から、「AMデザイン部門\_エントリーシート」をダウンロードし、必要事項を記入したうえでPDF（.pdf）形式のデータファイルに変換する。
- ・アップロード可能なファイルサイズの上限は300MBであるが、ファイルサイズはできるだけ小さくすること。
- ・ファイル名は、[高専名・キャンパス名\_代表者学生氏名]（「高専」「キャンパス」の文字は除く。）とする。  
例）舞鶴\_高専太郎.pdf または 仙台\_名取\_仙台太郎.pdf

#### (2) エントリー方法

- ・受付期間：2023年7月26日（水）～2023年8月9日（水）17:00
- ・応募方法：デザコン2023 in 舞鶴公式ホームページのAM部門の「エントリー」から行う（Googleアカウントが必要）。なお、アップロードされたエントリーシートは、審査資料として使用される。
- ・受領確認：エントリー（作品）の受付確認に関しては、エントリーで入力された代表者および指導教員のメールアドレスに内容受付のメールを自動配信する。メールアドレスについては入力ミスがないように十分確認すること。エントリー漏れがあった場合には、指導教員が下記メールアドレス宛に8月10日（木）までに連絡すること。

舞鶴工業高等専門学校 AMデザイン部門事務局 e-mail : dc-23am@maizuru-ct.ac.jp

### 4.3 本選への参加

予選の審査結果は、9月上旬までにデザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページ (<https://デザコン.com/>) で公開するとともに、予選通過者の指導教員に e-mail で通知する。また、本選の詳細 [本選出場要項] についても、9月中旬までに、審査結果と同様の方法で、公開および通知する。

### 4.4 参加費

- ・ 予選審査費は 1 作品につき 2,000 円とし、本選参加費は 1 名あたり 1,800 円とする。
- ・ 予選審査費は、2023 年 8 月 9 日 (水) までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 本選参加費は、2023 年 10 月 20 日 (金) までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 振り込み者名は、「高専名の略称、空白、エントリー番号、空白、担当者名」とすること。  
例) マイヅル 23 コウセンタロウ
- ・ 振り込まれた予選審査費および本選参加費について、いかなる場合も返金には応じない。

#### 【振込口座】

銀行名 : ゆうちょ銀行
店名 : 四四八 (読み ヨンヨンハチ)
店番 : 448
口座種別 : 普通預金
口座番号 : 5361124
口座名義 : 全国高等専門学校デザインコンペティション ゼンコクコウトウセンモンガッコウデザインコンペティション

## 5. 応募資格

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生及び専攻科生とする。
- (2) チームは、1～4 名で構成する。
- (3) チームメンバーの所属する学科や専攻は問わない。
- (4) 同一部門で同一人物が複数のチームに参加することは認めない。
- (5) 同一人物の予選へのエントリー制限について :  
デザコン 2023 in 舞鶴では、空間デザイン部門・創造デザイン部門・AM デザイン部門の 3 部門のうち 1 部門にしか応募することはできない。ただし、この 3 部門で予選通過できなかった場合には、構造デザイン部門への応募を可とする。

## 6. 審査員、審査方法および審査基準

### 6.1 審査員

委員長：浜野 慶一（浜野製作所 代表取締役 CEO）

委員：伊藤 恵（アクティブ KEI 代表取締役）

委員：尾畑 英格（経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長補佐）

### 6.2 審査方法

予選・本選とも、審査は、審査員による採点と協議により行う。

### 6.3 審査基準

#### (1) 審査員による審査

審査員が以下の審査基準に従い審査を行い、審査員相互の協議により総合的に審査を行う。評価基準に従い審査する際には、2.評価指標を鑑みる。

#### 審査基準

##### (a)新規性・独創性・活用性【配点 15 点×3 名 = 45 点】

現状での社会問題の解決、あるいは生活利便性が向上するアイデアであるか、さらに新規性・独創性があるかを審査・評価する。新しさ・驚き・ときめき・感動・楽しさを感じさせるアイデアを提示すること。

評価指標【①、②、③】

##### (b)技術的課題の解決・実用性【配点 15 点×3 名 = 45 点】

技術的課題の解決および作品の動作状況について審査・評価する。技術的課題の解決は可能な限り定量的に評価した結果を提示すること。また、作品の動作状況を確認し、アイデアを実現できているかについて審査・評価する。

評価指標【①、②、④】

##### (c)プレゼンテーション力【配点 10 点×3 名 = 30 点】

口頭発表とポスター発表において、内容および構成が優れているか、スライドやポスターの見やすいか、発表者の声、態度などが適切か、審査員との質疑応答の内容および理解力が優れているかを審査・評価する。

評価指標【④】

#### (2) 学生相互による投票

AMデザイン部門本選に出場するチームは、持ち点 1 点を、自らの作品以外で最も良い作品に投票する。得票数は審査点に加算する。

## 7. 表彰

(1) 最優秀賞（経済産業大臣賞（予定）） 1 点

(2) 優秀賞 2 点

(3) 審査員特別賞 2 点

## 8. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に帰属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載また Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには、応募作品とともに参加者、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者の申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。本選で提示されたポスターは原則的に公開を予定している。

## 9. 付記

- (1) 応募作品は他のコンテスト、コンペティションに応募していないものとする。
- (2) 募集要項に違反した場合は失格となる場合がある。
- (3) 応募作品の取り扱いについて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。また、輸送時の損傷についても主催者は一切責任を持たない。
- (4) 発表用資料および予選通過者の作品紹介にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現を行うこととする。
- (5) 応募要項の更新をデザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページ上で随時行うので、適宜確認すること。

AMデザイン部門では、質問はありませんでした。

AMデザイン部門 予選エントリー一覧

高専名（キャンパス名）	氏名（○ 代表者）
函館高専	○中村 涼, 木保 心音, 竹田 花月, 大澤 泰輔
苫小牧高専	○松本 昇磨, 今 優花, 林 孝太郎, 吉田 陽稀
仙台高専・名取キャンパス	○白田 陽彩人, 猪股 暖生, 渡邊 尚育, 佐々 優華
鶴岡高専	○細谷 希, 工藤 瑛奈, 金内 啓
鶴岡高専	○國井 蘭, 秋浜 正太郎, 阿部 嵐, 佐藤 心吾
石川高専	○廣瀬 夢華, 鳥井 雪乃, 松田 舞優, 馬縹 真愛
石川高専	○樋爪 友哉, 鶴川 莉颯, 沖田 くるみ, 嶋嶋 梨葉
福井高専	○長田 大成, 川越 瑠々空, 木下 颯, 下川 紗奈
福井高専	○駒野 真琴, 駒野 琴音, 駒野 翔太
福井高専	○山田 創平, 蜂谷 良希, 下村 成輝, 田中 こころ
岐阜高専	○臼井 遼太郎, 櫻井 晴生, エドバト エリエゼル, 大柿 潤成
弓削商船高専	○細矢 寧々, 柴崎 彩香, 野上 竜希, 福本 航右
弓削商船高専	○菅野 琴路, 萩原 聖大, 鴨川 隼, ヒアン シックトング
鳥羽商船高専	○里中 俊介, 中川 匡, 松本 莉奈, 萬 袖月, 高田 史哉
鳥羽商船高専	○大仲 真三人, 伊藤 琉聖, 中村 魁明, 平田 弦己, 羽根 圭人, 磯田 姫乃音
神戸市立高専	○坂本 晴臣, 有馬 朋希, 一色 潤, 奥村 翔太
呉高専	○眞鍋 昂大, 黒崎 翔駿, 田中 悠翔, 澤岡 由人
阿南高専	○松本 颯, 吉川 光, 薫谷 季紀

デザコン2023 AMデザイン部門 予選通過作品

2023/9/5

作品番号	作品名	高専名 (キャンパス名)
1	MetaMet	神戸市立高専
2	拡張型ボードゲーム “Crash Marble”	仙台高専(名取)
7	ディスポ持針器	弓削商船高専
8	ラビットガード	苫小牧高専
9	トップナー	弓削商船高専
10	レインぼう	呉高専
11	MACHIAI★SESSION	岐阜高専
17	Aquarium Circle	函館高専
19	Loadle	鶴岡高専
以上 9作品		



## 全国高専デザコン 2023 in 舞鶴 AMデザイン部門 本選出場要項

### 1. 開催日

2023年11月11日（土）、12日（日）

### 2. 本選概要

本選では、予選時の提案からより具体的に内容を深めた作品を提出すると共に、パワーポイントなどを使用してプレゼンテーションをしていただきます。さらに、会場にてポスターや提案する作品を用いた説明・実演および審査員とのディスカッションを行います。

### 3. 本選までにやるべきこと

下記5点のご協力をお願いします。

1. 実働（または実働を模擬する事）が可能な作品の製作
2. プレゼンテーションの準備
3. ポスター1枚（A1版・縦）の印刷
4. 集合写真・製作作業の様子を捉えた写真の撮影
5. プレゼンテーション資料（.ppt/.pptx）・ポスター（.pdf）データ・4の写真を格納したCD/DVD-ROMの作成

### 4. 審査方法

全てのAMデザイン部門本選出場チームが口頭発表・質疑応答およびディスカッションを行い、審査員による審査から総合的に評価を行う。

#### (1) 審査員による審査

審査員3名が以下の審査基準と協議により審査を行う。

#### 審査基準

##### (a) 新規性・独創性・活用性 【配点15点×3名=45点】

現状での社会問題の解決、あるいは生活利便性が向上するアイデアであるか、さらに新規性・独創性があるかを審査・評価する。新しさ・驚き・ときめき・感動・楽しさを感じさせるアイデアを提示すること。

##### (b) 技術的課題の解決・実用性 【配点15点×3名=45点】

技術的課題の解決および作品の作動状況について審査・評価する。技術的課題の解決は可能な限り定量的に評価した結果を提示すること。また、作品の動作状況を確認し、アイデアを実現できているかについて審査・評価する。

##### (c) プレゼンテーション力 【配点10点×3名=30点】

口頭発表とポスター発表において、内容および構成が優れているか、スライドやポスターの見やすいか、発表者の声・態度などが適切か、審査員との質疑応答の内容および理解力が優れているかを審査・評価する。

## (2) 学生相互による投票

AM デザイン部門本選に出場するチームは、持ち点1点を自らの作品以外で最も良い作品に投票する。得票による得点は審査員による審査点に加算する。

## 5. 審査員

委員長：浜野 慶一（株式会社浜野製作所 代表取締役 CEO）

委員：伊藤 恵（株式会社アクティブケイ 代表取締役）

委員：尾畑 英格（経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長補佐）

## 6. 概略日程

11月11日（土）	11月12日（日）
9:30～10:00 受付	9:00～ 9:10 オリエンテーション
10:00～10:20 オリエンテーション	9:10～11:50 ディスカッション
10:20～12:20 作品準備・ポスター掲示 →作品の写真撮影 (10:20～12:20 適宜昼食)	(11:50～13:30 適宜昼食)
12:30～13:00 開会式（総合文化会館大ホール）	11:50～12:30 審査・集計
13:10～15:50 プレゼンテーション	13:30～13:50 審査委員総評
16:00～17:00 技術交流	14:00～15:00 表彰式・閉会式 (総合文化会館大ホール)

## 7. 詳細

### 7. 1 受付（11月11日（土）9:30～10:00）

口頭発表の順番は受付時にくじ引きを行い決定します。順番はオリエンテーションでお知らせします。また、口頭発表で用いるパワーポイントファイル(.ppt あるいは .pptx)と、必須のポスター1枚のPDF形式ファイル(.pdf)、および集合写真・作業風景の写真を格納したCD-ROMまたはDVD-ROMを提出してください。

### 7. 2 作品およびポスターなどの展示準備（11月11日（土）受付後）

受付終了後、作品展示およびポスター掲示を行ってください。また準備が整ったチームから、オフィシャルブック掲載用の写真撮影および持参されたPC等とプロジェクタとの接続確認を行ってください。

- 必須の展示物
  - ・ポスター1枚(A1版・縦置き、印刷物を持参すること)
  - ・作品(3Dプリンタを活用した造形物)
- 任意の展示物 ※以下の展示を許可する。
  - ・補助的な説明用のポスター(A1版・縦置き1枚まで)
  - ・ノートパソコンやDVDプレイヤー等によるプレゼンテーション（11月12日の開始前に設置可）
- 注記

作品等を展示するスペースは、1チームあたり、テーブルの幅1800mm×奥行き600mmの範囲とします。また、作品の最大高さを1500mmまでとします。ディスカッションで説明に使用するノートパソコンやDVDプレイヤー等の機材は、各チームで用意してください。

### 7. 3 オリエンテーション (11月11日(土) 10:00～ 10:20 )

オリエンテーションに不参加のチームは失格になる場合がありますので、メンバー全員が必ず出席して下さい。また、大会当日、事務局から本要項を配布しませんので、事前に各自で本要項を印刷するなど準備して下さい。オリエンテーションでは、以下の内容を実施します。

- a) 本選実施方法の説明と諸注意 (当日変更内容を含む可能性があります)
- b) 口頭発表の発表順の発表

### 7. 4 口頭発表 (11月11日(土) 13:10～15:50 )

口頭発表で使用するノート PC 等 (HDMI コネクタでプロジェクタに接続できること) は各チームで用意して下さい。口頭発表は表1に従って進行します。PowerPoint 等を用いて発表して下さい。特に、各評価基準について簡潔に説明して下さい。

表1 口頭発表タイムテーブル

13:10	～	13:15	実施方法の確認と諸注意
13:15	～	13:30	口頭発表 No. 1
13:30	～	13:45	口頭発表 No. 2
13:45	～	14:00	口頭発表 No. 3
14:00	～	14:15	口頭発表 No. 4
14:15		14:30	口頭発表 No. 5
14:30	～	14:50	休憩
14:50	～	15:05	口頭発表 No. 6
15:05	～	15:20	口頭発表 No. 7
15:20	～	15:35	口頭発表 No. 8
15:35	～	15:50	口頭発表 No. 9

※時刻は目安です。当日の状況により変更の可能性があります。

- (a) 1チームの発表時間9分、質疑応答6分の合計15分です。呼び鈴は発表開始から6分で1回、9分で2回の順に鳴ります。2回目の呼び鈴を目処に発表を終えられるように準備してください。
- (b) 提案する「作品」を説明する目的に限り、発表内に作品を用いた実演の映像の再生を含んでも構いません。ただし、危険行為および人を不快に感じさせる可能性のある行為や内容の全てを禁止します。禁止事項に抵触すると判断した時点で、発表を強制終了し、予告無しで失格にする可能性がありますので注意して下さい。
- (c) チームの登録メンバーであれば、発表時の参加者の人数は任意ですが、登録メンバー以外の参加や実演の全てを禁止します。

### 7. 5 審査員による質疑(ディスカッション) (11月12日(日) 9:10～11:50 )

各チームを3名の審査員が巡回し、全ての作品の審査を行います。各チームは、パワーポイント等やポスターを用いた説明、および作品の実演を行い、質疑に答えて下さい。

- (a) 3名の審査員は、1チーム10～15分程度で口頭発表の順に審査に回ります。
- (b) 説明者の人数等は任意です。ただし、チームの登録メンバーに限ります。

※説明者が会場にいない場合は、予告なく失格とする可能性があります。

## 7. 6 審査員総評（11月12日（日）13:30～13:50）

- (a) 後述の「8. 表彰」に記載された各賞の選定は、「4. 審査方法」に記載の通り、審査員による審査の総合点数、および参加チームの投票数を基に審査員3名により協議され最終決定されます。
- (b) 結果発表は、総評もしくは閉会式で行います。

## 8. 表彰

- ・最優秀賞（経済産業大臣賞）1点
- ・優秀賞 2点
- ・審査員特別賞 2点

## 9. 注意事項

- (a) 特許性がある場合は、必ず大会までに特許の申請を開始しておいてください。また提案内容が既存特許への抵触がある場合は、事前に特許検索などにより提案者および指導教員が責任をもって確認し、提案書に提示してください。
- (b) 予選でのアイデアと本選でのアイデアが本質的に異なることは認められません。そのような場合、判明した時点で予告なく失格とします。
- (c) 本選当日までに本選要項などが変更される可能性があります。本選前に再度確認をお願いします。

## 10. 参加費

- ・本選参加費は、参加者1名あたり 1,800 円とする。
- ・本選参加費は、2023年10月20日（金）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・振り込み者名は、「高専名の略称、空白、エントリー番号、空白、担当者名」とすること。  
例) マイヅル 番号 コウセンタロウ
- ・振り込まれた予選審査費および本選参加費について、いかなる場合も返金には応じない。

### 【振込口座】

銀行名	: ゆうちょ銀行
店名	: 四四八（読み ヨンヨンハチ）
店番	: 448
口座種別	: 普通預金
口座番号	: 5361124
口座名義	: 全国高等専門学校デザインコンペティション ゼンコクコウトウセンモンガッコウデザインコンペティション

## 11. 集合写真・製作風景の写真データの事前提出

本選に出場するチームメンバーの集合写真（2枚以上）及び作業中の様子（6枚以上）を撮影していただき、写真データ（1枚2MB程度）をご提供ください。これらの写真はオフィシャルブックに掲載されます。口頭発表で用いるパワーポイントファイルおよびポスターファイルと共にCD-ROMまたはDVD-ROMに格納して受付時に提出してください。

- ・枚数は指定しません。
- ・ピースサインはお控えください。

## 1.2. 作品の送付

### ①ポスターおよび作品を送付について

ポスターおよび作品を送付する場合は、下記の住所へ【11月10日（金）12:00～17:00】の間に到着するよう、日時指定をしてお送りください。

#### <宛先>

〒625-0036 京都府舞鶴市字浜 2021 番地

舞鶴市総合文化会館 小ホール デザコン AMデザイン部門

#### <依頼主名の表記>

高専名・エントリーNo.・代表者氏名

【注意】作品の梱包については輸送時に破損等のないように万全を期してください。

### ②作品等の取り扱いについて

ポスターの展示、作品の開封と展示台への設置や審査後の梱包と返送作業等については、原則各学校の参加教員・学生で行なってください。

### ③模型のオフィシャルブック用写真撮影について

展示する模型は、オフィシャルブック用に写真撮影を予定しています。11月11日（土）の午前中に写真撮影する予定です。

## 1.3. 問い合わせ先

舞鶴工業高等専門学校 AM デザイン部門事務局 e-mail : dc-23am@maizuru-ct.ac.jp

事務的な質問のみ受け付けます。課題内容の質疑は受け付けません。

## デザコン2023 in 舞鶴 結果一覧

A Mデザイン部門		
賞名	高専名	作品名
最優秀賞 (経済産業大臣賞)	-	-
優秀賞	弓削商船	ディスプレイ持針器
優秀賞	神戸市立高専	MetaMet
審査員特別賞	仙台高専 (名取キャンパス)	拡張型ボードゲーム “Crash Marble”
審査員特別賞	弓削商船	トップナー

## 第 20 回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2023 in 舞鶴「session」

プレデザコン部門 募集要項  
[テーマ:みんな、あつまれ!]

**【課題概要】** プレデザコン部門では、高専の本科 3 年生までを対象とし、空間デザイン、創造デザイン、AM デザインの 3 つのフィールドを展開します。空間デザインフィールドでは「現存する」あるいは「過去に実在した」時空の描写、創造デザインフィールドでは次回大会で使用するトートバッグのデザイン、AM デザインフィールドでは 3D プリンターで造形したオブジェをテーマとします。固定概念にとらわれない自由な発想によるデザインを求めます。

**共通事項****1. 質疑応答**

募集要項の内容(課題内容、設計条件)に関する質疑応答は行わない。日程および提出方法などの事務的な質疑については、下記の方法で質問を受け付ける。

- ① 受付期間:2023 年 4 月 26 日(水)～ 5 月 10 日(水)17:00
- ② 質問方法:デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページのプレデザコン部門の「質疑受付」から行う(Google アカウント必要)。
- ③ 回答公開:5 月下旬から 6 月上旬にかけて、デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページのプレデザコン部門の「質疑応答」にて回答内容を公開する。

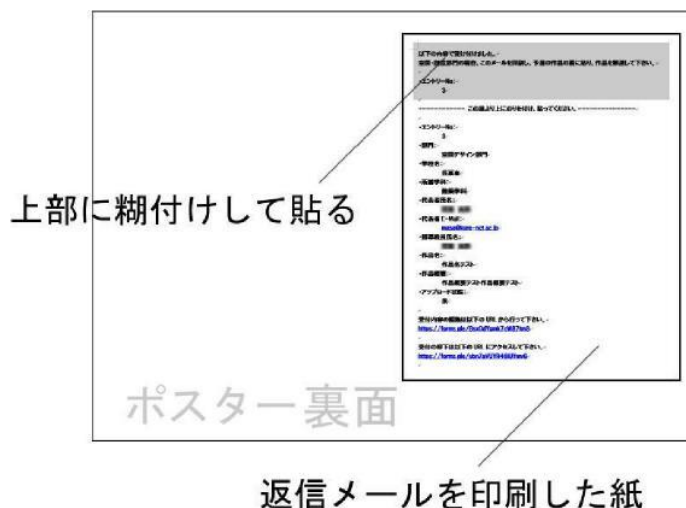
**2. 応募資格**

- (1) 高等専門学校に在籍する本科 3 年生以下を対象とする。
- (2) チームによる応募は、最大 4 名までとする。
- (3) チームメンバーの所属する学科は問わない。
- (4) 同一フィールドで同一人物もしくは同一チームが応募できるのは 1 作品とします。
- (5) 同一高専(キャンパス)が応募できる上限数は、合計 12 作品まで、同一部門では 6 作品までとする。

**3. エントリー時の提出物**

A3 版ポスター1 枚(横向き)

- タイトル、作品、コンセプト(横書き 150 文字以内)をまとめた A3 判ポスターを作成すること。
- A3 判ポスターの裏面右上隅に、エントリー後返信されるメール文面を印刷してのり付けすること。



- ポスター表面左上隅に縦3cm×横8cm の範囲に作品番号が書かれた紙が貼られることに留意する。
- 応募者の氏名・所属の記入は認めない。
- 紙の素材、質感については問わないが、立体物を貼ることは認めない。

#### 4. 表彰

各フィールドにおいて、以下の3つの賞が授与される。

- |   |    |
|---|----|
| (1) 最優秀賞(国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)理事長賞(予定))   | 1点 |
| (2) 優秀賞(一般社団法人全国高等専門学校連合会会長賞(予定))         | 1点 |
| (3) 特別賞(全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会会長賞(予定)) | 1点 |

#### 5. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に帰属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載または Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには、応募作品とともに参加者、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。

#### 6. 付記

- (1) 応募作品は他のコンテスト、コンペティションに応募していないものとする。
- (2) 募集要項に違反した場合は失格となる場合がある。
- (3) 応募作品は原則として返却しない。
- (4) プレデザコン部門の参加者の、本選への参加は自由とする。
- (5) プレデザコン部門の表彰式は行わず、後日、受賞者に賞状・副賞を発送する。
- (6) 応募作品の取り扱いにおいて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。



## 空間デザインフィールド

### 1. 提案条件

「実在する」或は「実在した」空間のパース(視点・消点を定める)を描く。ただし、時間や視点が固定された写真の様な写実的・客観的なものではなく、異なる時間や視点が混在するなど主観的なものとする。その空間の中に人の存在や生活・活動などを感じさせる表現にすること。出典が判りながらも独創的・想像的な時間・空間をコラージュした「似て非なる」唯一無二の時空の提案を求める。

人の存在や生活・活動などを感じさせる表現がどのようなものか

キーワード:異なる時空、コラージュ、非写実的、人の存在、人の生活・活動

### 2. 競技方法

会場に作品を展示し、来場者の投票により順位を決定する。

### 3. 応募方法等

Web 及び郵送による手続きとする。今回も Google アカウントは必要。

#### 3.1 質疑応答

「共通事項」に記載する。

#### 3.2 エントリー時の提出物

- ① A3 版ポスター1 枚(横向き)  
「共通事項」に記載する。
- ② 応募作品(A3 判ポスター)の画像データファイル
  - 作品は手描きであれば、手法はアナログ・デジタルを問わない。
  - 応募作品から、ファイル形式 PDF(.pdf)あるいは JPEG(.jpg)のアップロード用画像データを作成する。
  - アップロード可能なファイルサイズの上限は 300MB となっているが、ファイルサイズはできるだけ小さくすること。
  - ファイル名は、[高専名・キャンパス名\_代表者学生氏名]([高専][キャンパス]の文字は除く。)とする。

例) 舞鶴\_高専太郎.pdf または 仙台・名取\_仙台太郎.pdf

#### 3.3 エントリー手続き

- ・受付期間: 2023 年 9 月 25 日(月)～ 10 月 27 日(金)17:00
- ・作品提出: 2023 年 10 月 31 日(火)必着
- ・応募方法: デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページ(<https://デザコン.com/>)のプレデザコン部門の「エントリー」から行い、②の[応募作品(A3 判ポスター)の画像データファイル]をアップロードする(要 Google アカウント)。  
①の[A3 判ポスター]は下記の提出先に郵送(必着)する。なお、A3 版ポスターについては、パネル化せず、折り曲げずに提出すること。  
※アップロードされた画像データは、審査員に事前配布する資料に収められ、審査にも用いられることを承諾すること。

[A3 判ポスター]提出先:

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地 舞鶴工業高等専門学校  
第 20 回全国高等専門学校デザインコンペティション  
プレデザコン部門担当事務局

プレデザコン部門担当事務局 e-mail:dc-23pre@maizuru-ct.ac.jp

- ・受領確認： エントリーの受付確認に関しては、エントリーで入力された代表者および指導教員のメールアドレスへ内容受付のメールを自動配信する。メールアドレスは入力ミスがないように十分確認すること。  
A3 版ポスター等の受領確認については、プレデザコン部門担当事務局より、各高専の学生課宛に e-mail で連絡する。
- ・参加費は、徴収しない。

#### 4. 応募資格

「共通事項」に記載する。

#### 5. 審査方法

会場に展示された作品を来場者が見て投票しその点数で順位を決定する。なお投票できる持ち点は、来場者種により異なり、連動する各部門の審査員(10点)、協賛企業(1社5点)、高専教職員・高専学生・一般来場者(1点)である。なお、この審査方法は状況によって変更される場合がある。

#### 6. 表彰

「共通事項」に記載する。

#### 7. 著作権等

「共通事項」に記載する。トレースなどによって他者の著作権を侵害しないよう注意すること。

#### 8. 付記

「共通事項」に記載する。

## 創造デザインフィールド

### 1. 提案条件

2024年度の阿南大会で使用するトートバックのデザインを募集する。阿南大会のメインテーマ「繋」をイメージできるものとする。本メインテーマは、全国の高専学生がアイデア・技術・表現を競うデザコンにおいて、学生・地域間のつながり、アイデア・表現の交流、技術・異分野の融合などが生まれ発展し、様々なものが未来へ「繋」(つなげる・つながる)のように願いを込めたものである。デザインにあたっての要件・制限を以下にまとめる。

- ・ トートバッグの寸法は、縦 380mm、横 330mm 程度とする。
- ・ 表面のみにデザインを印刷する。
- ・ 余白なども考慮の上、デザインの配置まで提案すること。
- ・ 使用できる色は 1 色、トートバッグの色は藍色(徳島の藍染)をイメージした青系とする。
- ・ 縦 15mm、横 60mm 程度の大きさの協賛企業のロゴの位置を指定すること。
- ・ デザインの意図、コンセプトがわかる説明文を記入すること。
- ・ 手書きでもかまわない。ただし、トートバックのデザインとして採用された場合、最終デザイン(印刷されるデザイン)は、手書きのままとするのか、あるいは、デジタル的な処理をするのか、作者との打ち合せを行い決定する。
- ・ 大会で用いる最終デザイン(印刷されるデザイン)を決定するにあたり、作者の確認を取ったうえで、その意図を十分に汲み取り、デザインの修正や変更を依頼する場合がある。
- ・ デザインの色と、トートバックの色(青系)についても打合せを行い決定する。

### 2. 競技方法

空間デザインフィールドと同じ要領とする。

### 3. 応募方法等

Web 及び郵送による手続きとする。今回も Google アカウントは必要。

#### 3.1 質疑応答

「共通事項」に記載する。

#### 3.2 エントリー時の提出物

空間デザインフィールドと同じ要領とする。

#### 3.3 エントリー手続き

空間デザインフィールドと同じ要領とする。

### 4. 応募資格

「共通事項」に記載する。

### 5. 審査方法

空間デザインフィールドと同じ要領とする。

### 6. 表彰

「共通事項」に記載する。

### 7. 著作権等

「共通事項」に記載する。

## AM デザインフィールド

### 1. 提案条件

今大会のプレデザコンのテーマである「みんな、あつまれ！」というキーワードを体現した造形を考案し、3D プリンターで出力する。その出力したものを詳細は「プレデザコン部門 AM デザインフィールド競技要項」を参照する。

### 2. 競技方法

空間デザインフィールドと同じ要領とする。

### 3. 応募方法等

なお、Web による手続きを利用するためには、Google アカウントが必要となる。

#### 3.1 質疑応答

「共通事項」に記載する。

#### 3.2 エントリー時の提出物

- ① 作品「3D プリンターで造形したオブジェ」(必須)
  - ・「1. 提案条件」にしたがって、3D プリンターでオブジェを作製する。
  - ・※作品には上下が分かるように上側に★マークを記入すること。
  - ・原則として、完成品を提出すること。組立てが必要な場合は、応募者本人または関係者、指導教員等が会期前日に来場し、作品の設営・施工を行うこと。
- ② 応募作品(A3 判ポスター)のプレゼンシート(画像データファイル)(必須)
  - ・「共通事項」に記載する。
- ③ 取扱説明書(必須)
  - ・デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページ(<https://デザコン.com/>)の様式集から、「プレデザコン部門-AM フィールド-取扱説明書フォーマット」をダウンロードし、必要事項を記入したうえで PDF(.pdf)形式のデータファイルに変換する。アップロード可能なファイルサイズの上限は 300MB であるが、可能な範囲で小さくする。
  - ・ファイル名は、[高専名・キャンパス名\_代表者学生氏名]([高専][キャンパス]の文字は除く。)とする。  
例) 舞鶴\_高専太郎.pdf または 仙台・名取\_仙台太郎.pdf
- ④ オブジェの完成形の 3D モデルデータ(オプション。審査対象としない)
  - ・開催期間中に会場内でレンダリングデータを公開する。レンダリングは部門側で同一条件を設定して行う。
  - ・完成した状態のモデルデータとする。(プリント用の個別ファイルは不可)
  - ・形式は udatasmith ファイル(拡張子.udatasmith)、object ファイル(拡張子.obj)または stl ファイル(拡張子.stl)とする。

#### 3.3 エントリー手続き

- ① エントリー&取扱説明書のアップロード
  - ・受付期間: **2023 年 9 月 25 日(月)~10 月 27 日(金)17:00**
  - ・応募方法: デザコン 2023 in 舞鶴公式ホームページのプレデザコン部門の「エントリー」から行う。PDF 化した「取扱説明書」をアップロードすること。
  - ・受領確認: エントリーの受付確認に関しては、エントリーで入力された代表者および指導教員のメールアドレスへ内容受付のメールを自動配信する。メールアドレスは入力ミスがないように十分確認すること。

② 作品の提出

- ・ 受付期間: 2023年10月23日(月)~10月31日(火)17:00 必着
- ・ 本募集要項(p.6)にある送付状を梱包物の外側の分かりやすい場所に貼り付け, 作品を下記の提出先に送付する。送料は発払いとする。
- ・ 作品の受領確認については、プレデザコン部門担当事務局より、各高専の学生課宛に e-mail で連絡する。

提出先: 〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地  
舞鶴工業高等専門学校 第20回全国高等専門学校デザインコンペティション  
プレデザコン部門担当事務局 e-mail:dc-23pre@maizuru-ct.ac.jp

③ 参加費は、徴収しない。

4. 応募資格

「共通事項」に記載する。

5. 審査方法

空間デザインフィールドと同じ要領とする。競技内容の詳細については別途資料を参照のこと。

6. 表彰

「共通事項」に記載する。

7. 著作権等

「共通事項」に記載する。

8. 付記

「共通事項」に記載する。

## [別途資料] AM デザインフィールドの競技について

### 1. 競技内容

#### (1) 概要

テーマを体現した造形を 3D プリンターで出力する。

#### (2) 審査方法

会場に作品(オブジェ、プレゼンシート、取扱説明書)を展示し、来場者の投票により順位を決定する。  
なお、提出された 3D データは会場内に映し出す予定であるが、これは採点対象としない。

#### (3) 設計および製作条件

- ① 大きさは静置した時に幅 300mm×奥行 300mm×高さ 1,000mm の範囲内にあること。
- ② 自立可能なこと。
- ③ 基本的に組立後の完成品を提出すること。設置に際し、簡易的な施工が必要な場合は応募者自身が大会前日に会場にて実施すること。このとき、他の展示物に故意・過失を問わず接触した場合は失格とする。
- ④ 3D プリンターで造形したものに限るが、その造形方法、造形機種、材料(樹脂の種類など)、色は自由とする。ただし、3D プリンターで造形したもの以外を「造形以外の部品(おもり等)」として用いることができる。これには金属製などの既製のビス、鋳造した金属などを含む。
- ⑤ 造形は一体ではなく、造形した部品を組立てたものでも良い。また、造形後の加工(切削、研磨、アセトン等による表面処理など)も認める。なお、組立ての際には嵌合のほか、接着剤(種類は問わない)および金属部材を用いてよい。
- ⑥ ④の規定の通り、造形に用いる材料の種別は自由であり、部品ごとに造形材料を変えて良い。
- ⑦ ④の規定のうち、接着剤を除く「3D プリンタで造形したもの以外」は作品表面(底面含む)に露出させないこと
- ⑧ ④の規定のうち、「3D プリンタで造形したもの以外」に該当する金属部品の総重量は 1,000g を超えないこと
- ⑨ 展示前日に接着が必要な場合は、概ね 1 時間以内に初期硬化が発現し、部材同士を安全に固定でき、翌日以降の審査時点で展示に支障が生じない接着剤にすること
- ⑩ 展示台が完全に水平を保つことに十分留意すること。また展示台に固定できないため、施工精度によってバランスが不安定となるものにはしないこと。モデルにヒンジなどの可動部分がなく、また電源・光源類および動作可能な状態にしたサーボモータ等を展示物の内外に仕込まないこと。軟質材料を用いる場合を除き、審査期間中において物理的に変形しないこと。

### 2. 留意事項

#### (1) 審査後の作品

競技後の作品は原則返送しない。回収を希望する応募者(または関係者)は、身分証と回収用の段ボール箱等を用意することで、会期中に部門長から回収の許可を得た場合に限り、2 日目閉会式後に当該応募者の展示物を回収することができる。返送料金が発生する場合は応募者側で負担すること。

## プレデザコン部門 AM フィールド作品の送付について

AM フィールドの作品を送付する場合、以下に従って送付して下さい。

- ・配送業者：指定はありません。
- ・時間期間：2023年10月23日(月)～10月31日(火)17:00 必着
- ・提出先：〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地  
舞鶴工業高等専門学校 第20回全国高等専門学校デザインコンペティション  
プレデザコン部門担当事務局 e-mail:dc-23pre@maizuru-ct.ac.jp
- ・注 意：着払いでの送付はご遠慮願います。  
輸送時の損傷について、大会事務局は一切責任を持ちません。

送付にあたっては、以下に記入の上、梱包物の外側のわかりやすい場所に貼付して下さい。

----- キリトリ -----

### デザコン 2023 in 舞鶴

部 門 名 : プレデザコン<AM>

学 校 名 : 高 専

( キャンパス名 : )

プレデザコン部門では、質問はありませんでした。



空間デザインフィールド

作品番号	高専名（キャンパス名）	作品名・氏名（○ 代表者）・学年
1	サレジオ高専	馬車道と空 ○亀本 晃生（1年）
2	サレジオ高専	軍艦島 ○西原 次郎（1年）
3	サレジオ高専	アビタ67団地（habitat67） ○村山 朔太郎（1年）
4	仙台高専・名取キャンパス	三鷹天命反転住宅 ○大友 海晴（2年）
5	仙台高専・名取キャンパス	東京駅 ○芳賀 楓（2年）
6	仙台高専・名取キャンパス	石橋屋 ○山口 哲平（1年）
7	仙台高専・名取キャンパス	調査ファイルNo.25 宮城県図書館 ○松森 英香（2年）
8	仙台高専・名取キャンパス	東京都 日本橋 ○伊藤 成龍（1年）
9	長野高専	稲荷山養護学校～愛があるところに自然と人が集まる～ ○宮澤 七星（2年）
10	近畿大学高専	時代を繋ぐ龍 ○辰己 允治（3年）
11	長野高専	片倉館～時を超えてあつまれ!～ ○野明 鈴穂（2年）
12	舞鶴高専	まちなかりビング北千里 ○木寺 達士（1年）
13	舞鶴高専	角川武蔵野ミュージアム本棚劇場 ○上田 薫（1年）
14	舞鶴高専	フルーツ・フラワー・パーク ○生田 朋也（1年）
15	舞鶴高専	四番町スクエア ○陌間 聡志（1年）
16	舞鶴高専	NEW 京都駅 ○芦田 匠（1年）
17	徳山高専	KAIT広場 ○背戸 雫（2年）
18	仙台高専・名取キャンパス	中嶋記念図書館 ○敦賀 柚姫（2年）
19	鹿児島高専	新国立競技場 ○飯森 爽晴（1年）
20	徳山高専	周南工場夜景—The light that connects the future— ○神田 陽菜（2年）
21	鹿児島高専	洞窟図書館 ○今中 美輝（1年）
22	都城高専	ドラウゲン石油プラットフォーム ○郭 龍佑（2年）
23	長野高専	大賀ホール～音色に包まれた心地よい空間～ ○大工原 若奈（2年）
24	鹿児島高専	調和 ○伊地知 美帆（1年）
25	高知高専	高知駅 ○小松 野乃香（2年），渡部 貴仁（1年）

創造デザインフィールド

作品番号	高専名（キャンパス名）	作品名・氏名（○ 代表者）・学年
1	仙台高専・名取キャンパス	結んで広げてパトン ○吉岡 冬雪（3年）
2	岐阜高専	営み ○長谷川 楓乃（1年）
3	長岡高専	オレがNO.1 ○小野 真由, 田中 理子（2年）
5	サレジオ高専	旭日昇天 ○佐藤 明咲, 今任 唯（2年）
6	サレジオ高専	青春 ○林 譲葉, 菊池 里莉（1年）
7	サレジオ高専	ほころぶ ○橋本 美乃, 菊地 玉笑（2年）
8	サレジオ高専	黎明 ○松平 亜弥子（1年）
9	サレジオ高専	旅人 ○小嶋 廷音（3年）, 高口 菜乃（2年）
10	福島高専	TUNAGARU TUNAGERU ○金沢 笑瑚, 小田嶋 美海, 斎藤 あかり（1年）
11	松江高専	紬 ○岡 蓮水, 小林 葵, 池袋 蒼空（2年）
12	岐阜高専	時の共有 ○野原 珠実（1年）
13	仙台高専・名取キャンパス	渦を巻く白鷺 ○鈴木 千愛（3年）
14	松江高専	繋げ阿南に。 ○阿瀬川 獅友, 新崎 真央（3年）
15	舞鶴高専	growing up with ANAN ○水嶋 奈緒（1年）
16	舞鶴高専	光の融合 ○酒井 悠生（1年）
17	阿南高専	向日葵 ○野村 芽以, 吉崎 凧紗（3年）
18	舞鶴高専	融合 ○和泉 穂花（2年）

## AMデザインフィールド

作品番号	高専名（キャンパス名）	作品名・氏名（○ 代表者）・学年
3	鶴岡高専	ご縁あってまたご縁 ○鈴木 佑弥, 齋藤 源治郎, 阿部 来翔（1年）
4	鶴岡高専	フェザミリー ○金内 啓（2年）
5	鶴岡高専	デジタルメロディ・ストリートフェスト ○佐藤 心吾（2年）
6	鶴岡高専	この指止まれ ○山内 美怜, 土井 紗稀寧, 石澤 怜奈（1年）
7	舞鶴高専	門前成市 ○大庭 遥翔, 河合 力憲, 井貝 比翼, 椎野 泰壽（3年）
8	舞鶴高専	五年の重ね ○前 吾一, 佐々木 康介, 古山 奏, 椿井 洋平（3年）
9	津山高専	あつまる木 ○松浦 芳郎, 池田 大吾（3年）
10	津山高専	目指せ！お金を貯え一攫千金 集い集まる貯金箱 ○木下 遥喜, 野上 光太, 高宮 啓（3年）
11	津山高専	変幻自在！パズルBOX ○則本 馳天, 白濱 颯斗（3年）
12	舞鶴高専	希望のコースター ○佐々木 啓介, 町野 暢郎, 高須 美月, 高嶋 俊樹（3年）